

人文会ニュース

2009. 9

代表幹事あいさつ	鎌内宣行	1
書店現場から 京都の街から	鳥羽隼弥	3
15分で読む経済思想	稲葉振一郎	5
本を選ぶときのポイント	河合郁子	23
人文会活動報告		
人文会年次総会報告		
委員会活動方針		
特約店グループ訪問報告		

106

<http://www.jinbunkai.com>

三砂ちづる 編著
**赤ちゃんに
 おむつはいらない**
 —失われた育児技法を求めて

育児は「生活の知恵」から「専門家による指南」に沿う手法にいつ、なぜ変わった?



赤ちゃんは生後すぐからおまるで排泄できるし、排泄のサインも出している! かつて行われていた「おむつなし育児」に挑戦した40組の親子の実践記録。育児を「負担」にさせる社会のあり方を問う。

2100円

四六判上製320頁

*価格税込

せいそう

勁草書房 TEL 03-3814-6861
 FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
<http://www.keisoshobo.co.jp>

**戦後日本スタディーズ
 全3巻**

岩崎稔・上野千鶴子・北田暁大
 小森陽一・成田龍一* 編著

いま、「戦後」を問い直すための見取り図を提示し、戦後史を総括する。

① 40・50年代

東京大空襲/GHQ/講和/沖縄/
 生活綴方運動/復員兵/朝鮮戦争/
 サークル詩…… ◆2520円

② 60・70年代

安保/ベ平連/三里塚/水俣/
 アングラ/全共闘/コムン/
 リフ/少年マンガ…… ◆2520円

③ 80・90年代

ニューアカ/フェミニズム/おたく/
 ネオリベ/バブル文化/オウム/
 グローバル化/格差…… ◆2520円

紀伊國屋書店

出版部: 東京都目黒区下目黒3-7-10
 営業 TEL03(6910)0519 表示価格は税込

**セックス・アンド・
 デス** 生物学の哲学への招待

●K.ステレニー他/太田・大塚
 田中・中尾・西村・藤川訳 我々の
 常識や価値観を揺さぶる〈生
 物学の哲学〉という衝撃。4935円

進化論の射程

生物学の哲学入門

●E.ソーバー/松本・網谷・森元訳
 創造論と対決し、利己的遺伝子
 や社会生物学の論争にメスを入
 れる現代哲学の新機軸。3990円

現代唯名論の構築

歴史の哲学への応用

●中山康雄 多元的言語論で、
 哲学の根本問題に挑む。3360円

春秋社 東京都千代田区外神田2-18-6
 ☎03-3255-9611 (価格に税込)
<http://www.shunjusha.co.jp/>

慶應義塾大学出版会

<http://www.keio-up.co.jp/>

日本のイギリス史理解を変える
 イングランド—国史観を超えた画期的通史!

**オックスフォード
 ブリテン諸島の歴史**

全11巻、刊行開始! (最終配本 2012年5月予定)
 A5判上製 416~512頁 本体 4800円~5200円(予定)

第2回配本

第5巻 14・15世紀

ラルフ・グリフィス編/北野かほる監訳 ◆5040円

〈好評既刊〉

第9巻 19世紀 1815年~1901年 ◆5040円

〈続刊〉

第1巻 ローマ帝国時代のブリテン島 第2巻 ホスト・ローマ/

第3巻 ヴァイキングからノルマン人へ

第4巻 12・13世紀 1066年~1280年頃

第5巻 14世紀 1485年~1603年

第6巻 16世紀 第7巻 17世紀 第8巻 18世紀 1688年~1815年

第9巻 19世紀 1901年~1951年 第10巻 20世紀 1945年以降

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30 【価格税込】
 Tel 03-3451-3584 Fax 03-3451-3122

代表幹事あいさつ

春秋社 鎌内 宣行

五月一四日に開催された人文会年次総会において私が再任されました。また、書記幹事には誠信書房の新保卓夫氏、会計幹事には御茶の水書房の平石修氏がそれぞれ再任されました。この体制で三期目に入りました。よろしくお願い申し上げます。

昨年度は人文会創立四〇周年の年。記念事業として『人文書のすすめⅣ』の刊行と「東京合同研修会―人文書の可能性を探る」(前号一〇五号に特集として内容が載録されています)の開催を会全体で取り組み成果を上げることができました。この場をもちまして関係された皆様方に御礼申し上げます。

年次総会では会の体制を見直して、販売・企画委員会(委員長 東京大学出版会 橋元博樹氏)、調査・研修委員会(委員長 みすず書房 田崎洋幸氏)、広報委員会(委員長 勁草書房 吉武創氏)の三委員会に変更いたしました。

また、新入会員として柏書房の入会が承認され新たな仲間が加わりました。現会員数は一九社(休会 草思社、晶文社)になります。また、正担当者の変更が三社で、柏書房さんを加えると四名が新たに会活動に参加いたします。

会全体の方針としては、会員がそれぞれの仕事分担を明確に決めることで各自の会活動を具体化出来るよう徹底いたしました。具体的には各委員長の活動方針をお読みいただければと存じます。

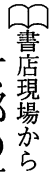
出版不況はますます深刻化しています。閉店数も増加しているようです。一方で出店も(大型店含め)相変わらず止

まりません。こういう状況のなかで人文会として何が出来るのかが問われていることと思います。

現在人文会特約店は約二〇〇店（大学生協含む）です。前出の東京合同研修会に参加された一〇〇店舗の棚担当者の方々の人文書に対する熱い思い入れ、担当者同士の積極的な交流、などを見ているとつくづく棚担当者の力量が売上を左右することを実感しました。特約店を中心に地道な現場主義を貫くこと、棚担当者と協力すること、とにかく顔と顔をつき合わせて仕事をしていくことです。

すでに六月から四チームに分かれての特約店訪問を終えています（レポートは本誌に掲載）。また、秋には会全体で名古屋・東海地区の研修も予定されています。

人文会は今年度も書店様、図書館様へ最新で有効な情報の提供を心がけ厳しい状況に少しでも抗したいと思っております。ますますのご支持を御願いたします。

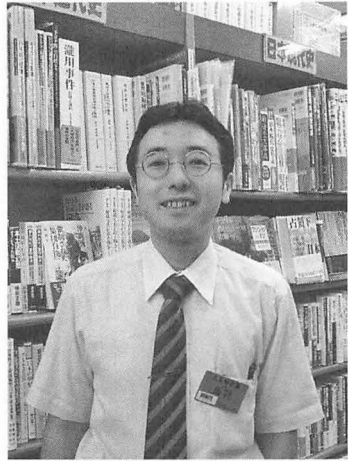


京都の街から

鳥羽 隼弥

当店は、京都市の中心部、東西をはしる四条通りに面し、南北の大通りである、烏丸通りと河原町通りの中間点にあります。京都では街がそれぞれの道路によって碁盤の目のように区切られているため、通りの名前で住所が分かります。例えば当店は、四条通富小路角（四条通りと、南北をはしる富小路通りの角）という住所になります。

さて、この店に勤めて十年ほどになりますが、その間、京都の書店事情も大分変わりました。私が入社した頃は、河原町通りに丸善さん、駿々堂さんといった、大きな書店が歩いて十分圏内にありました。いずれも今はありません。その代わりという訳ではないですが、河原町通りにブックファーストさんが出店され、当社も、京都に二店舗目を出店しました。また、烏丸通りには大垣書店さんが三条、四条と二店舗出されています。お隣のブックストア談さんも文教堂さんとなって営業をされています。そして、少し北、寺町通り二条には、全国的に有名な三月書房さんがあります。一方で、京都駅にはアバンティブックセンターさん、三省堂さん、ふたば書房さんと、やはり大きな書店圏を形成されています。ちなみに、中心部の四条烏丸から京都駅まで、地下鉄で二駅、自転車でも十分足らずです。つまり自転車があれば、一時間位でこれらの書店を巡ることができてしまう、そういう狭い範囲に書店がひしめいている、京都というのはそういう街です。もちろん、これだけの書店があるのには、学生の街という京都の特徴があります。京都大学、同志社、立命館、佛教大など、国公立、大小さまざまな大学があり、これらの学生、教員の方々が、顧客として我々



筆者近影

を支えてくれているのです。しかし、人文書をはじめとして、年々その顧客層が薄くなってきたという、そんな気がします。考えられる原因として、まず、大学の京都市外への移転による、顧客の減少があります。近年は大学も経営が厳しくなってきたっており、学生を獲得するために、新学部を創設したりしています。京都市内ではこれ以上キャンパスを広げられないため、市外に新しいキャンパスを作っているのです。また、予算の削減により、教員の方が専門外の本まで買う余裕が無くなっているというのもあるでしょう。竹内洋先生もおっしゃっていた様に、実際に学生が本を買わなくなっている気がします。

この縮小傾向の中で、どうやって人文書売っていったらいいのか。それを考える上で面白い試みが、昨年から行われています。それは、京都水無月大賞というもので、人文書ではありませんが、市内外各店の文芸、文庫担当者が、一番売りたい文庫を推薦し、投票して一位になったものを、参加書店でフェア展開するというものです。本屋大賞の文庫版というところでしょうか。今年で二回目となり、知名度も上がってきたようです（詳細はホームページを見て下さい http://chatenare.jp/minaduki_taisho/）。

実は、人文書でも二〇〇一年五月より一ヶ月、心理学書大博覧会と称して、市内六店舗の書店で合同フェアを行ったことがあります。それぞれの店が臨床心理とか社会心理など分担を決め、書目リストも合同で作ったのです。また、翌年には、同じく日本史大博覧会と称して、時代別、テーマ別に書目を選び合同フェアを行ったのです。しかし、テーマによる店ごとの売行きの格差や、担当者の転勤、書店環境の変化などにより、この試みは二回で終わってしまいました。京都の街の良い意味での狭さを活かす、こういった試みが、再びできればと、日々の仕事に追われながらも、夢想しております。

（とば じゅんや・現・ジュンク堂書店松山店）

十五分で読む経済思想

一 「科学としての経済学」の歴史

たとえば物理学の研究・教育において、ニュートンの『プリンキピア』を学ぶことは今日必ずしも推奨されない。それはもちろん決して無益ではないが、そこに要する労力のことを思えば、他のこと——たとえば現代の標準的な教科書を読み、練習問題を解くこと——をする方が、同時代の物理学研究の前線に参加するためにははるかに有益である。だから今日『プリンキピア』を読むことは、物理学の歴史それ自体を目的として学ぶ人々の間ではよく行なわれるが、物理学そのものを学びたい人々の間では全くトレンディではない。程度の差はあれ、同

様のことは自然科学全般についてあてはまる。

その対極に政治学がある。政治学の教育において、古代ギリシアにさかのぼる偉大な古典の学習は、もっぱら現代政治を学ぼうという学徒にも、必須の義務として強制されている。そして同様の傾向は、程度の差はあれ、いわゆる人文社会科学全般に共通している。

このような違いがなぜ生じるのか。単純に言えば、物理学の歴史は物理の歴史とほとんど関係がない——物理学が存在しようとしまいと、この宇宙の物理法則のありように変わりはない——のに対して、政治学の歴史は明らかに政治の歴史の不可欠の構成要素である——政治家たちはただ単に政治の歴史を学ぶだけではなく、現実政治に介入して現実の政治の歴史を作ってきた——から

稲葉振一郎

である。

このように考えるならば、人文社会科学の中でも経済学の研究・教育においては、比較的自然科学に近い現象が生じている理由もわかってくる。経済学の歴史はもちろん、現実の経済の歴史の一部である。その時代その時代の経済学の知見は、政策や社会運動といった形での、現実の経済への介入を導いてきた。しかしながらある時期以降からは、経済学において経済への介入を導く論理が微妙に、しかし決定的に変容する。おおむねアダム・スミスの登場まで、少々さかのぼってフランス啓蒙思想における重農主義の成立までは、経済学は政治学、政策科学の一部であった。もちろん重農主義、スミス以降も経済学は政策科学であることをやめてはいない。しかし重農主義者たちの仕事、そしてスミス『国富論』によって、経済学は政治学から徐々に分離し、独立した別の科学になっていく。

さしあたりその経済学の自立は、「工学化」とでも呼ぶうる形で始まったように思われる。政策的介入の対象としての経済というものを、政策主体としての政府とは別個の独立した存在とし、かつその経済固有の論理、そ

の自律性を尊重する——それ自体は政府によつては操作しがたく、変えることができないものとみなす立場が成立する。

ここでいう「工学」とは、対象の固有の論理、たとえば自然科学的な法則性を否定しがたい、逃れがたい前提としたうえで、その正しい理解を踏まえて対象を操作しようという立場のことである。それは語の通常の意味ですにせよ、あるいは暴力の威嚇をもつて強制するにせよ、はたらきかける相手の了解を通じて、つまりはそれ自体心、知性ある主体であるはたらきかけの対象との、双方向的なコミュニケーションによつて、対象を操作しようとする立場とは異なる。「工学」においては対象をコミュニケーションの相手の相手とはせず、ただ一方的に操作するのみの対象とする。ただしその操作を適切に行なうために、対象固有の運動法則を無視せず尊重する、ということである。

小難しい言い方になったので平たく言いなおそう。社会契約論においては、人々は納得すくの合意でもつて、一緒に社会を作り維持していく。互いに対等ではない君

主と臣下の関係においても、前者は命令し、後者はそれを理解して服従する、という形でものごとは進められていく。「政治はコミュニケーションによる」とはそういうことである。しかし重農主義、スミス以降の経済学における政策は、コミュニケーションを経由しない。それは人々の行動原則を理解した上で、人々をただ一方的に誘導する。もちろんその誘導は、人々の行動原則に逆らっては行ないえない。

ここからさらに「工学」ならぬ「科学」としての経済学への方向性も出てくる。政策科学としての経済学は、あくまでも経済という対象を操作の対象とみなし、経済の固有の自律的運動法則を理解するのも、あくまでもそれをよく操作するためであるわけだが、この「政策的操作」という目標をカッコにくくり、経済固有の法則性の理解を自己目的化する立場が成立すれば、それが「科学としての経済学」というわけである。いわゆる重農主義はこの「経済固有の法則性」を、農業を中心とした生産力の再生産の論理に見出し、アダム・スミスは市場の「見えざる手」に見出している。

それが政治学の延長、政策科学である限りにおいて、経済学の歴史は現実経済の歴史の一部である。しかしながら経済政策は、介入を受ける側の了解を経由した「政治」としてのみならず、相手の了解を経由せずに一方的になされる一種の「工学技術」としてもなされるものである。そしてさらなる極限には、自然科学に類似した、人間には動かしようがない客観的法則性の理解に努める「科学としての経済学」が展望されうる。この「科学としての経済学」の歴史は、物理学の歴史の理解が現実の物理現象の理解に対して果たしうるのと同じような意味においてしか、現実経済の理解に資することはないだろう。すなわち我々にとつてはあくまで、同時代の最新の理論装置を用いて現実の物理なり経済なりを研究することが最善であり、過去の理論装置は主として、現在の理論装置の意義を反省的に見直す際に参照されるべきである。我々が別の理論を採用したからといって、それによつて研究対象の性質が変化するわけではない。

言い換えるなら「科学としての経済学」の歴史は、物理学その他大部分の自然科学の歴史と同様「進歩」の歴史、過去から未来にかけての知識の成長の歴史として描

かれざるをえない。もちろんトマス・クーンの「パラダイム」論、あるいはミシエル・フーコーの「知の考古学」以降、一方向的で連続的な発展の歴史として科学史を捉えるようなやり方は時代遅れとなり、知識の歴史は飛躍や断絶に彩られ、単なる量的な成長のみならず質的な構造転換をも含むものとして理解されるようになった。しかしながら一時期における、異なるパラダイム間の「共役不可能性」を過度に強調するような立場も大人げがない。基本的な発想や構造が異なる理論同士の間においても、それらが同じ客観的な対象を共有している以上、相互の翻訳は可能である。いわんや、異なった理論枠組を採用したからといって、そのことによって研究対象の性質が変わるわけではない。せいぜい、同じ研究対象の違う側面が見えるようになる程度である。となれば『唯一の正しい認識』に向けての一直線の接近」にはならなくとも、『客観的な現実』という焦点を共有するさまざまな理論の織りなすコスモス」として経済学史は見えてくるはずで、「互いに共役不可能な理論同士が目を見て背け合いつつぶつかり合うカオス」にはならない。

二 「思想としての経済学・経済政策の歴史」

それに対して「政策科学・運動論としての経済学史Ⅱ 現実の社会経済の一部としての経済学の歴史Ⅱ 社会史としての経済学史・経済思想史」は、カオティックな「神々の争い」の様相を呈する可能性がある。何となればそれは広い意味での政治思想史の一部であるからだ。このような意味での経済思想史を学ぶことは、現在形の科学としての経済学を学ぶための直接の助けにはなるまい。しかしすでに述べたように、それは現代の経済学の一部ではなくとも、経済そのものの歴史の一部である。それを学ぶことは、現代の経済学の観点からすれば誤っていたり、不完全であったり、あるいは別の方向を向いた知識に導かれた、人間の経済活動の多様な可能性について、またそれら多様な可能性の間の葛藤、衝突について学ぶことである。

まず第一に重要なのが、「国家主義」とでも言うべき潮流である。スミスによって今日の経済学への軌道が敷かれる以前、彼が『国富論』の中で「重商主義」と呼

んだ潮流はまさに「政治学」として、君主、国家権力の目的——国力の増進——のための民間の社会経済への介入、操作の技法を探究するものであるが、その知的基盤の薄弱さをスミスに痛打された。しかしその基本発想自体は死に絶えることなく、あるいは国民の生活を守るための緊急避難、またあるいは国家安全保障等の名目で繰り返される、通商規制や産業政策の正当化の論理として、今日なお生き延びている。

第二に「社会主義」の問題がある。

スミスから現代の主流派経済学へといたる一連の知的伝統（これが「科学としての経済学の歴史」の内実である）には、一定のイデオロギー的な偏向——といって悪ければコミットメントがある。そこには「人間とはこうしたものだ（ほどほどに利己的でほどほどに合理的である）」というあらかじめの想定があり、そのように想定された人間性を道徳的に指弾しないし、無理に変えようとも思わない。そのような想定に立って、そのような人間たちの織りなす社会の中に生じるであろう秩序について「科学的」、「工学的」的にアプローチしていく。具体的に言えば、人々は自分の利益を第一に目指して、その

利益を最大化するように適切な手段を選択して行動する、とオーソドックスな経済学は想定し、そうした利己的で合理的な人々の行動が互いに衝突せず、折り合いをつけながら解放される社会的な枠組として、私有財産制度と自由な市場経済を位置づける。経済学が想定するところでは、私有財産制度と市場経済の下で人々は、誰に指導されることもなく、強制されることもなく、自力で自発的に、利用可能な資源を最大限に活用していく。そして経済学者たちが考える正当な政策的介入とは、緊急避難的なものを除けば、特定の個人や企業に直接はたらきかけ、望ましい方向へと強制したりするのではなく、制度的な枠組を変えることによって、望ましい行動を人々が自発的にとるようにすることである。そこには先述の「人間とはこうしたものだ」という「事実判断」レベルでの想定に加えて、そのような事実を肯定、是認するという「価値判断」が成り立っている。

知的な立場としての社会主義の特徴は、個別の論点を超えてこうした基本前提のレベルで、主流派の経済学に異を唱えることである。社会主義者たちは、市場経済の発展が社会的連帯を掘り崩すことを憂慮した。そして、

正統的な経済学が想定する人間像を、「市場経済の発展によってイデオロギー的に歪められたもの」とそれなりに正しく看破し、それに対して「人間は必ずしも正統派経済学が想定するほど『合理的』でも『利己的』でもない」と考えた。彼らは「事実判断」レベルでそう考えただけでなく、そうした人間性は正統派経済学が想定する「利己的」「合理的」な人間性よりも道德的に優位に立つ、「価値判断」を下した。

とりわけ、社会主義諸派の中で圧倒的な影響力を持ったマルクス主義によれば、「人間性 human nature」は必ずしも自然 natural なものではなく、人間を取り巻く社会的なコンテクストによって形作られるもので、当然に歴史的にも変化する。正統派経済学が自然な「人間性」と考えている「利己的」で「合理的」な性質もまた例に漏れない。むしろそれは私有財産制度と市場経済によって形作られたものである。私的所有と市場における競争が、人間をエゴイストへと作り上げるのであり、友愛と連帯を軸として、市場の「見えざる手」の代わりに民主的な政治が計画的に経済を運営する社会の中では、人間はエゴイズムを超えることができる、と。

さて結論的に言えば、マルクスの社会主義の「人間性の歴史的・社会的可変性・相対性」というアイディア自体は生き延び、現代では社会学という学問の根幹をなしてさえる一方で、実践的な政治構想としてのマルクスの社会主義は破産して久しい。

人々が「人間として当然もっているはずの自然な感性・理性」とみなすものの具体的な内容は、社会によって異なり、歴史的にも変化するということ自体は疑いを容れない。ただし、そうした変化の幅は決して無限ではなく、ある有限な範囲に収まるものである。その限りでは、非常に緩やかな意味においてなら「普遍的な人間性」なるものについて語っても必ずしも誤りとはならない。そしてそれ以上に重要なのは、「人間性」が歴史的に変化しうるものだといっても、その変化を意図的に作り出そうと——望ましい「人間性」を備えた新しい人間を意図的に作り出そうとしてはならない、ということだ。こうした「人間改造」の試みがいかに悲惨な結果をもたらすかについては、二十世紀前半のファシズム、ナチズムの歴史が貴重な教訓を与えてくれた。かといって右記の意味での「人間性」に手を加えず、それを所与のもの

として受け入れるならば、社会主義経済体制はきわめて非効率的で、長期的には資本主義的市場経済を上回る成果を決して上回ることはできない。そうした問題提起は理論レベルでは意外と早くからなされていたが、経験を踏まえた確証は二十世紀後半まで持ち越してしまった。その間に浪費された資源は、人命も含めて膨大なものとなるだろう。

そして第三に、ケインズ主義という問題系がある。

一時期までこのケインズ主義・ケインズ経済学というパースペクティブは、ややもすれば単なる折衷主義とみなされてきた。

いかに市場経済が効率的とは言え、それは個人主義化や不平等化を推し進めて社会的な連帯を掘り下げる。あるいはまた、軍事や環境破壊、あるいは財産や労働能力を持たない社会的弱者の保護といった問題にはよく対処できない。それゆえそうした「市場の失敗」をフォローするため、あるいは市場が機能するために必要な大前提としての、私有財産制度、ひいては法と秩序そのものの確立のために、国家（や伝統的な共同体）による経済への介入はどうしても必要になる——ここまではオーソド

ックスな経済学も認めてきたが、ケインズ主義はそれ以上の経済への介入が時に必要である、と主張する。

ケインズ派が要求する介入とは景気対策であり、不況に対して金融緩和と財政支出によって景気を浮揚し、景気が過熱してインフレ気味になれば緊縮財政と金融引き締めで落ち着ける——というものであった。ケインズによれば、市場経済はミクロ的な取引の調整には優れているけれども、経済全体のレベルでの景気の調整能力を十分には持たない。それゆえ時として、一九二九年の金融パニックから世界大恐慌へ、といった破局的事態が発生してしまう。それを防ぐため、ないしはそれが起きてしまった後の迅速な回復のためには、単なる制度の維持を超えて、裁量的、機動的な政策対応が必要なのだ、という。しかしそうした政策介入は、ともすれば恣意的で無原則であり、つまるところケインズ主義とは中途半端な国家主義、社会主義に過ぎないのではないか——そのような疑問がついて回った。

七〇年代、石油ショックをきっかけとする「福祉国家の危機」とスタグフレーションは、ケインズ的な財政金融政策にも限界があることを明るみに出し、その経済理

論的な根拠の薄弱さもあって、八〇年代以降ケインズ主義はすっかり不人気となった。それに対して二〇〇七年のアメリカのサブプライム危機に端を発する世界的な金融危機と不況は、ケインズ再評価の機運を急速に盛り上げてはいるが、依然としてケインズ政策の経済理論的根拠については、衆目は一致していない。

私見では、ケインズ派の要求する政策介入は必ずしも無原則的ではない。その説くところによれば、自由な市場経済といえどもつねに資源を効率的に配分できるわけではなく、貨幣の流通が不十分な場合には、経済全体の供給と生産力に対して有効需要と購買力が不足する「不況」となり、市場における自由な競争は「共存共栄」ではなく「弱肉強食」に、人々の福祉の向上にはなく低下に導く。つまりケインズ政策を導く基準は「市場経済が成立しているかどうか」ではなく、「自由な市場経済が社会的な福祉を改善する役に立っているかどうか」にあるわけだ。しかし現時点ではいまだこのケインズの意味での「不況」の概念が本当に科学的に適切かどうかのレベルで、いまだに確定した合意が成り立っていないのだ。

三 文献案内

さて、以下では具体的な読書ガイドに入るとしよう。

全体的な見通しをつけるためには、やはり通史的な入門書が便利である。まず第一にロバート・ハイルブローナー『世俗の思想家たち』（ちくま学芸文庫）は、歴史に名を残す偉大な経済学者たちの列伝という、もつともオーソドックスなスタイルで書かれた好著であり、全体的なパースペクティブを得るには最適である。これに対して小田中直樹『ライブ・経済学の歴史』（勁草書房）は通史・列伝スタイルではなく「分配」「政府」「企業」というふうな問題別概念史のスタイルをとっている。

異色作も紹介しよう。森嶋通夫『思想としての近代経済学』（岩波新書）は、非常にアクが強く、今日の観点からすれば明らかな間違い（具体的には「社会主義計画経済は発達したコンピューターによって可能となる」という見解）も含まれて「取り扱い注意」だが、戦後日本が生んだ世界的な理論経済学者による非常に個性的な入門書である。そしてポール・クルーグマン『経済政策を

売り歩く人々」(ちくま学芸文庫)は、まだ十分「歴史」になっていない——近い過去であってはまだ十分に歴史として研究されていないという意味でも、また、まさに現在進行形の経済問題、そして現代経済学の先端に直結しているという意味でも——ケインズ以後の経済学と経済政策の歴史を活写している。

その上で古典に取り組むのであれば、やはりアダム・スミスを読むべきである。『国富論』は現代人にとっても決して読みにくい本ではない。日本語への翻訳の歴史も長く、多数の版が出ているが、プロの学説史家の訳した岩波文庫版(杉山忠平訳)と、プロの翻訳家が訳した日本経済新聞出版社版(山岡洋一訳)とを最新のものとしてあげておく。この他にもスミスの主要著作はその大半が訳されている。『国富論』は彼が大学で行っていた道徳哲学・法哲学の講義の一部、「行政Police」にかかわる部分を膨らませたものである。(先に「政策科学から経済学へ」といったのはそういう意味だ。)この講義の全貌については聴講生が残したノートを復元した『法学講義』(水田洋訳、岩波文庫)から知ることができ

る。さらに彼の道徳哲学原論とでも言うべき著作が『道徳感情論』(水田洋訳、岩波文庫)だ。

日本の経済学史研究において、スミスはカール・マルクスと並んで最も愛され、尊重されてきた対象である。十八世紀人たるスミスは正統派の経済学にとってはもちろん、マルクス経済学にとっても尊敬すべき始祖であった。それゆえ戦時中には少なからぬマルクス経済学者が、スミスを読むことによって時代を耐え忍び、戦後、ことにスターリン批判以降には、スターリニズムが体現したマルクス主義内部の抑圧性を反省する手がかりがスミスに求められた。それゆえ戦後ある時期までの日本のスミス研究はリベラルなマルクス経済学者に先導され、かつ狭義の経済学のみならず政治思想・哲学にまで目配りしたバランスの取れたものとなった。

「リベラルなマルクス主義者のスミス読み」として圧倒的な影響力を持った内田義彦の著作のほとんどは今日でも容易に入手可能だ。岩波書店の『著作集』があるが、そこに収められた主著の多くは今なお単行本としても流通している。マキアヴェリから説き起こしてスミスにいたる近代社会思想史入門『社会認識の歩み』(岩波新

書」と、その原型とも言うべき、『道德感情論』と『国富論』を軸にスミス経済学の歴史的意義を論じる『経済学の生誕』（未來社）の他に、戦後日本のマルクス研究の最大傑作である『資本論の世界』（岩波新書）もまた、スミスとマルクスの対比を機軸として書かれている。

内田のバースペクティブに慣れた日本の読者には最初は「今更」感を抱かせた、スミスを経済学史のみならず十八世紀の政治思想史、哲学史の中に立体的に位置づける潮流の英米圏における打ち上げ花火はイステヴァン・ホント&マイケル・イグナティエフ編『富と徳』（未來社）である。八〇年代以降はこうした読まれ方がむしろ欧米でも普通となっており、日本にもドナルド・ウインチ『アダム・スミスの政治学』（ミネルヴァ書房）、クヌート・ホーコンセン『立法者の科学』（ミネルヴァ書房）などが訳されている。

しかし意外な感を抱かされるのは、いわゆる「フランス現代思想」最大のヒーローたるミシェル・フーコーもまた、こうした潮流の中にいたことだ。その全貌が明らかにするのは、長らく録音テープのみで知られていたコレージュ・ド・フランスでの講義が公開された二〇〇〇

年代のことだが、七九年の講義『生政治の誕生』（筑摩書房）は前半を重農主義者とアダム・スミスにあて、統治の科学としての経済学の出現の歴史的意義についての透徹した分析が展開されている。なおこの時期にフーコーの薫陶を受けていた政治学者ピエール・ロザンヴァロンの著作はすでにこの年に公開され、日本にも早い時期に翻訳（『ユートピア的資本主義』長谷俊雄訳、国文社）されている。

こうした、いわば統治の科学、政策科学から今日的な意味での経済学への屈曲点としてアダム・スミスを見るならば、その前後についての勘をつかむにはどうすればよいのか？ もちろん、右述したような立体的なスミス研究の著作を読んでいくことが大いに助けになる。たとえばロザンヴァロンの著作は短いものだが、スミスが批判した古典的な国家主導の政治経済学、いわゆる「重商主義」から重農主義、スミスを経てヘーゲル、マルクスにまでを射程に納めた名著である。フーコーの右記講義の前年度の講義録『安全・領土・人口』（筑摩書房）もまた、「重商主義」を広いバースペクティブの中で論じて示唆するところが大きい。

しかしいざ古典を読むとなればどうすればよいか？

ここで経済学史家小林昇の仕事を参照しよう。小林は内田と並んで戦後のスミス研究をリードした存在であるが、内田がやがてマルクスへと進んだのに対して、小林は十九世紀ドイツにおいてスミス経済学を批判し、保護貿易・産業政策による殖産興業の必要を力説し、後に「ドイツ歴史学派」と呼ばれる潮流の祖となったフリードリヒ・リストを、さらにはスミスの仮想論敵（一度たりとも名指しで批判してはいない）、いわゆる「重商主義」の理論的大成者というべきサー・ジェイムズ・ステュアートを研究した。ことに小林のリスト研究は国際水準を凌駕するものであったと言われる。小林はリストの名著として著名な『経済学の国民的体系』（岩波書店）のみならず、短いがリストの全構想を素描したと思しき雑誌論文『農地制度論』（岩波文庫）までをも翻訳し、多くのリスト研究論文をものしている。ステュアートの大著『経済の原理』（名古屋大学出版会）の翻訳に参加した他、『最初の経済学体系』（名古屋大学出版会）他多くの仕事をしている。内田と比較したとき小林の目は、スミスやマルクス、あるいは今日の新古典派の目から見て「負け

犬」とでもいうべき位置にある「重商主義」やリスト（彼の『国民的体系』はいわば後進国——リストの時代にはいまだ統一さえしていない——ドイツにおける「重商主義」の再演である）にこそが、それら「負け犬」の側の事情を浮き彫りにするものである。ステュアートの『原理』は『国富論』以上に大部な上に晦渋だが、小林の『体系』で概要はつかめるし、リスト『農地制度論』は短いし、小林の解説と合わせれば存外読みやすい。ブルボン朝フランスの啓蒙的知識人・改革派官僚（ケネーはルイ十五世の侍医であり、チュルゴーはルイ十六世の下で財務総監を務めた）であった重農主義者たちについて、細かく見るならスミスとの違いは些細ではない。翻訳が読めるのはフランソワ・ケネー『経済表』（岩波書店）とアンヌ・ロベール・ジャック・チュルゴー『富に関する省察』（岩波文庫）などであるが、ロザンヴァロン著などを手がかりとした方がよいだろう。

スミスと並んで経済学史上に燦然と輝く巨星は言うまでもなくカール・マルクスであるが、マルクスの著作は、エスタブリッシュメントとしてのマルクス主義が健在な

間は「教典」であつて、あらゆる読解が政治的、それどころか宗教的な含意を持つてしまい、落ち着いて学問的に読むことが困難だった。マルクスに対しては、細部においてはともかく全体としては肯定するか、否定するかのどちらかの立場を取ることを誰もが迫られたのであり、中立、あるいは是々非々で臨むことが許されなかった。

むしろそのような状況は今日では過去のものとなり、マルクスの著作は「教典」からスミスやリスト同様に単なる普通の古典となつたが、そうなつてくると逆に過去のマルクスを論じた文献の多くがリアリティを失い、歴史的な資料として以上の価値をほとんど感じられなくなつてしまつた。つまり、マルクス本体はいまなお読むに値する古典であるが、後続マルクス主義文献の大半と、マルクス主義・反マルクス主義とを問わずマルクス研究の多くは、マルクス主義をめぐる政治対立という、それらが本来置かれていた文脈を失つてしまつたため、何だかその意味がよくわからない過去の遺物になつてしまつたのである。

とはいえ膨大なマルクスの著作の中から何を読めばいいのか、またマルクスとマルクス主義の歴史的な意義と

は何だったのか、についての的確なガイドはどうしても必要だ。その場合筆者は、入門書としてまずは応用倫理学の泰斗として知られるピーター・シンガーの小著『マルクス』（重田晃一訳、雄松堂出版）を勧めることにしている。そしてシンガーの勧めに従うならば、マルクス自身の著作でまず読むべきは、盟友フリードリヒ・エンゲルスと共著のパンフレット『共産党宣言』であり、意欲ある読者にはさらに、主著の『資本論』の第一巻ということになるだろう。どちらも複数の翻訳があり、手に入れやすいのは岩波文庫版、新しいのは筑摩書房の『マルクス・コレクション』版である。第二、三巻まで含めた『資本論』全巻を通読したければ、新日本出版社版が最適だろう。

それでは今日なお読むに値する、マルクス研究文献、そしてマルクス以降のマルクス主義経済学文献をあえて挙げるとすれば？

後者、マルクス以降のマルクス経済学の古典といえはやはりレーニンの『帝国主義論』（岩波文庫、光文社古典翻訳文庫等複数の翻訳が利用できる）、そしてルドルフ・ヒルファディング『金融資本論』（岡崎次郎訳、岩

波文庫）であろう。実はマルクス経済学最大のセールスポイントは「十九世紀末に資本主義は構造転換して、それ以降はスミスやマルクスが考えた資本主義とは多少異質なものになっている。マルクス経済学はこの歴史的転換を重視しているが、主流派経済学は軽視している」というものだった。そしてこの「資本主義の発展段階論」という問題設定を切り開いたのがこの二著である。さらに日本において「資本主義の発展段階論」に独自の貢献を行ない、一学派を形成したのが宇野弘藏であり、その原点は『経済政策論』（弘文堂、岩波書店版『著作集』にも収録）である。

そして前者、マルクス研究としては、日本人のものとして、宇野による『資本論』の独自の再構成である『経済原論』（大冊と小冊の二バージョンあり、ともに岩波書店）、先にあげた内田『資本論の世界』のほか、数理モデルを用いて主流派経済学との橋渡しをした森嶋通夫『マルクスの経済学』（岩波書店『著作集』ということになる）。この他非マルクス主義者のマルクス論としては、ケインズと同年生まれの大経済学者ヨゼフ・シュムペーターの『資本主義・社会主義・民主主義』（東洋経

済新報社）が重要である。

しかし以上はすべて、マルクス（とマルクス主義者）の資本主義分析をテーマとしている。それでは、マルクス主義を指導原理として実現してしまった、ソ連東欧、あるいは中華人民共和国における社会主義計画経済体制の問題について考えるには？ 一冊だけ挙げるならば『コルナイ・ヤーノシュ自伝』（日本評論社）である。著者は社会主義ハンガリーにおいて、あえて亡命せずに体制内改革に従事し、その果てにはついに「社会主義経済の病理は小手先の改革では間に合わず、資本主義への全面移行以外に道はない」と結論せざるをえなかった。

最後にケインズとケインズ主義について。すでに紹介したクルーグマン著が、あくまでも現役の経済学者の立場からする歴史認識を示している参考になる。ジョン・メイナード・ケインズご本尊の名著『雇用、利子および貨幣の一般理論』（間宮陽介訳、岩波文庫、塩野谷祐一訳、東洋経済新報社）はなかなか難物なのでガイドがほしい。クルーグマンのまともな優れているが、岩波版の訳者間宮の小著『ケインズとハイエク』（ちくま学芸

文庫）は思想史として、小野善康『不況のメカニズム』（中公新書）は現代の道具立てでケインズ理論を再構成する理論の試みとしてそれぞれ優れている。

間宮著のケインズと並ぶもう一方の主役は、社会主義計画経済とケインズ政策双方に対する、最も早い時期からの手強い批判者で、いわゆる「新自由主義」の原点とされる経済学者・政治思想家フリードリヒ・フォン・ハイエクである。全集（春秋社）が刊行中だが、論争パンフレットというべき『隷属への道』（西山千明訳、春秋社）、論文集『市場・知識・自由』（ミネルヴァ書房）が便利だろう。この他にやはりケインズ主義批判の急先鋒のミルトン・フリードマン『資本主義と自由』も新訳（村井章子訳、日経BP社）が出ている。

稲葉振一郎（いなば・しんいちろう）

現在、明治学院大学社会学部教授。

著書に『リベラリズムの存在証明』（紀伊國屋書店）、『経済学という教養』（ちくま文庫）、『資本論』（ちくま新書）、『モダンのクールダウン』『公共性論』（以上、NTT出版）、『マルクスの使いみち』（太田出版）、『所有と国家のゆくえ』『社会学入門』（以上、NHK出版）など。

15分で読む経済思想・ブックガイド

出版社	ISBN (978)	書 名	著者名	本体 価格	刊行
筑摩書房	4480086655	入門経済思想史 世俗の思想家たち	R.L. ハイブルローナー	1500	2001
勁草書房	4326550463	ライブ・経済学の歴史	小田中直樹	2400	2003
岩波書店	4004303213	思想としての近代経済学	森嶋通夫	780	1994
筑摩書房	4480092076	経済政策を売り歩く人々	P. クルーグマン	1400	2009
日本経済新聞出版社	4532133269	国富論(上)	A. スミス(山岡洋一訳)	3600	2007
日本経済新聞出版社	4532133276	国富論(下)	A. スミス(山岡洋一訳)	4000	2007
岩波書店	4003410516	国富論 1	A. スミス(水田洋・杉山忠平訳)	900	2000
岩波書店	4003410523	国富論 2	A. スミス(水田洋・杉山忠平訳)	900	2000
岩波書店	4003410530	国富論 3	A. スミス(水田洋・杉山忠平訳)	900	2000
岩波書店	4003410547	国富論 4	A. スミス(水田洋・杉山忠平訳)	900	2000
岩波書店	4003410585	法学講義	A. スミス(水田洋訳)	1100	2005
岩波書店	4003410561	道徳感情論(上)	A. スミス(水田洋訳)	860	2003
岩波書店	4003410578	道徳感情論(下)	A. スミス(水田洋訳)	940	2003
岩波書店	4004110637	社会認識の歩み	内田義彦	700	1971
岩波書店	4004110699	資本論の世界	内田義彦	700	1966
未来社	4624321482	新版 経済学の生誕	内田義彦	3800	1994
未来社	4624321376	富と徳	ホント・イグナティエフ編	品切	1990
ミネルヴァ書房	4623018680	アダム・スミスの政治学	D. ウィンチ	品切	1989
ミネルヴァ書房	4623034208	立法者の科学	K. ホーコンセン	4800	2001

出版社	ISBN (978)	書 名	著者名	本体 価格	刊行
筑摩書房	4480790477	ミシェル・フーコー 講義集成 (7) 安全・領土・人口	M. フーコー	6500	2007
筑摩書房	4480790484	ミシェル・フーコー 講義集成 (8) 生政治の誕生	M. フーコー	5500	2008
国文社	4772001779	ユートピア的資本主義	P. ロザンヴァロン	2900	1990
岩波書店	————	経済学の国民的体系	F. リスト	品切	1970
岩波書店	4003411216	農地制度論	F. リスト	品切	1974
名古屋大学 出版会	4815803407	経済の原理 第1・第2編	J. ステュアート	12000	1998
名古屋大学 出版会	4815802080	経済の原理 第3・第4・第5編	J. ステュアート	15000	1993
名古屋大学 出版会	4815802455	最初の経済学体系	小林昇	2500	1994
岩波書店	4000006156	ケネー経済表 原表 第3版所収版	ケネー	品切	1990
岩波書店	4003410318	富に関する省察	チュルゴオ	品切	1934
雄松堂出版	4841900637	マルクス	P. シンガー	1500	1989
岩波書店	4003412459	共産党宣言	K. マルクス・ F. エンゲルス	460	1971
筑摩書房	4480401120	ドイツ・イデオロギ ー(抄)/哲学の貧 困/コミュニスト 宣言(マルクス・ コレクション)	K. マルクス	3600	2008
岩波書店	————	資本論(全9巻)	K. マルクス(向 坂逸郎訳)	700～ 1100	1969 ～70
新日本出版 社	————	資本論(全13巻)	K. マルクス(資 本論翻訳委員会 訳)	各 1165	1982 ～89
筑摩書房	4480401144	資本論 第1巻(上)	K. マルクス(今 村仁司ほか訳)	3200	2005
筑摩書房	4480401151	資本論 第1巻(下)	K. マルクス(今 村仁司ほか訳)	3500	2005
光文社	4334751128	帝国主義論	V. レーニン(角 田安正訳)	571	2006
岩波書店	4003413418	帝国主義	V. レーニン(宇 高基輔訳)	660	1956

出版社	ISBN (978)	書 名	著者名	本体 価格	刊行
岩波書店	4003413913	金融資本論(上)	R. ヒルファディング	品切	1982
岩波書店	4003413920	金融資本論(下)	R. ヒルファディング	品切	1982
弘文堂	————	経済政策論	宇野弘蔵	2500	1971
岩波書店	4000201735	経済原論(岩波全書)	宇野弘蔵	2000	1964
岩波書店	4000925976	森嶋通夫著作集(7) マルクスの経済学 高須賀義博	森嶋通夫	品切	2004
東洋経済新報社	4492370797	資本主義・社会主義・民主主義	J. シュンペーター	4400	1995
日本評論社	4535554733	コルナイ・ヤーノシュ自伝	K. ヤーノシュ	4700	2006
東洋経済新報社	4492312186	雇用・利子および貨幣の一般理論	J. M. ケインズ (塩野谷祐一訳)	3400	1995
岩波書店	4003414514	雇用・利子および貨幣の一般理論(上)	J. M. ケインズ (間宮陽介訳)	900	2008
岩波書店	4003414521	雇用・利子および貨幣の一般理論(下)	J. M. ケインズ (間宮陽介訳)	700	2008
筑摩書房	4480090218	ケインズとハイエク	間宮陽介	950	2006
中央公論新社	4121018939	不況のメカニズム	小野善康	780	2007
春秋社	4393621820	隷従への道	F. ハイエク(西山千明訳)	1900	2008
東京創元社	4488013035	隷従への道	F. ハイエク(一谷藤一郎ほか訳)	2500	1992
ミネルヴァ書房	4623016723	市場・知識・自由	F. ハイエク	2800	1986
日経 BP 社	4822246419	資本主義と自由	M. フリードマン	2400	2008

著作集・全集

出版社	書 名	著者名	本体価格	刊 行
岩波書店	内田義彦著作集 (全 10 巻・補巻 1)	内田義彦	品切(補巻のみ 在庫あり)	1988~2002
岩波書店	宇野弘蔵著作集 (全 10 巻・別巻 1)	宇野弘蔵	品切	1973~74
未来社	小林昇経済学史著作集 (全 11 巻)	小林昇	4800~13000	1976~89

出版社	書 名	著者名	本体価格	刊 行
春秋社	[新版] ハイエク全集 第Ⅰ期 (全10巻・ 別巻1)	F. A. ハイエク	1900～4600	2007～08
春秋社	[新版] ハイエク全集 第Ⅱ期 (全10巻・ 別巻1)	F. A. ハイエク	3800～	2009年～

*旧い書籍のため、または複数巻にわたるため、本体価・ISBNを書いていないものがあります。

*複数の訳が存在する場合のみ訳者を併記してあります。

*2009年8月時点での在庫状況です。詳しくは各版元に問い合わせください。

本を選ぶときのポイント―出版社を知り、出版社で選ぶ― ―千代田図書館と人文会の合同セミナーを企画して

河合 郁子

人文会と千代田図書館の連携企画である連続セミナー（六回連続）が、二〇〇九年四月よりスタートしています。前々館長の時代から考えていた企画が三年越しでようやく実施に至り、この原稿を書いている七月末の時点で第四回までが終了しました。ここでは、千代田図書館企画担当の視点から人文会と公立図書館の連携の一事例として、本企画について紹介します。

一 読者に本選びのポイントを提示

人文会連続セミナー「本を選ぶときのポイント―出版社を知り、出版社で選ぶ―」は、千代田図書館を会場に、人文会会員社から講師を招いて、毎月一回開催する六回

連続型のセミナーです。平日は二時まで開館している千代田図書館の特長を活かし、平日一九時から二〇時半に開催し、仕事帰りのビジネスパーソンの参加を狙いました。

各回のタイトルと講師

第一回…『国史大辞典』物語―日本史への道案内―

（前田求恭氏…吉川弘文館 代表取締役社長）

第二回…企画から出版まで―編集歴三三年の経験から―

（西谷能英氏…未来社 代表取締役社長）

第三回…二十世紀の思想を俯瞰する―ちくま学芸文庫―

（熊沢敏之氏…筑摩書房 代表取締役専務）

第四回…百科事典ができるまで―最後の〈紙〉の百科



セミナー会場風景

『世界大百科事典』――

(関口秀紀氏…平凡社 執行役員編集一部部長)

第五回…福澤、南原、丸山と大学出版の未来

(竹中英俊氏…東京大学出版会 常務理事)

第六回…『夜と霧』『生きがいについて』ロングセラーの誕生――「シロ難解」出版社のめざすもの――
(持谷寿夫氏…みずす書房 代表取締役社長)

この連続セミナーのコンセプトを考えるにあたり、関係者の視点から目的を次のように整理しました。①参加者にとって、本を選ぶときのポイントの一つとして、出版社を知るための機会となること。②講師をご担当いただく人文会会員社にとって、自社の特色をPRする機会となること。③人文会にとって、人文書の魅力を伝える機会となること。④千代田図書館にとって、利用者へ情報収集力を高める機会を提供すること。

ターゲットは、「書名や帯、著者の情報を見ても、それだけではたくさんある本の中からどれを選ぶのか絞りきれない」という人々を想定しました。「自分が知りたい情報が書いてある本」を選ぶためには、「出版社の特

色やこだわりを知ること」がポイントの一つになるはず
です。このことを提案することが本企画のコンセプトで
す。つまり六人の講師が裏話を交えて話す、各社の特色
やこだわりなどにまつわるエピソードに触れることによ
って、セミナー参加者が「本を選ぶポイント」のヒント
をみつけることができるのではないかと考えたのです。
また、講師の所属する出版社のPR誌を毎回の配布資料
に加えました。いろいろな出版社のPR誌でその特色を
チェックして、本選びの参考にしてもらいたいと考えま
した。

連続タイトルを「本を選ぶときのポイント」としたの
はそういう理由からです。

二 好評だった参加者の反応

スタートしてみると、千代田図書館を日頃から利用す
る方々だけでなく他区の図書館へ送ったチラシをご覧に
なり参加した方もあり、すべての回が満員御礼となる人
気の企画となりました。

ところが、セミナー参加者にとって、コンセプトがわ

かりにくい部分もあったようでした。講師の話そのもの
は毎回大変好評だったのですが、第一回・第二回のアン
ケートからは、「本を選ぶときのハウツー」を教えても
らえると思っていた」という内容の記入が見られました。
「自分にとって、本を選ぶときのポイントになりうる
『何か』を講師の話を通して参加者自らに見つけてもら
うことを期待した企画でしたが、「普遍的な、本を選ぶ
ときのポイント」（そもそも、そのようなものがあるの
か私にはわかりませんが）を伝授するセミナーだと思っ
た方が、思いのほかに多いことに気が付きました。講師が
語る苦心したことやこだわったこと、その個々のエビソ
ードに触れること、そして出版社の特徴を知ることが本
を選ぶときの重要な材料となるという主催者側の意図が、
参加者に十分に伝わっていなかったようです。

そこで、第三回以降では、セミナーの冒頭にコンセプ
トをくわしく説明し、さらに講師の話のあとに、司会の
私から今回の出版社の特色および本を選ぶときのヒント
について、講師の話を振り返った「本日のポイント」を
口頭で加えることにしました。結果、「編集方針がよく
わかった」「それぞれの会社の特徴がわかる（連続参加



第三回講師 熊沢敏之氏

の方)」「編集者にも注目しようと思った(第三回)」などの感想が得られました。

また、「めったに聞けない裏側のエピソードがおもしろかった」「情熱を感じた」「出版社や編集者の苦勞がよくわかった」「本に対して敬意が生じた」などの感想が、毎回多くみられました。書物を作りだしている世界への読者の親近感や関心を高め、書物の豊かさを感じる機会を提供できたのではないだろうか。

三 書物をつくりだす世界に図書館はどう関わるか？

本企画の準備と毎回の講師の話を通して、「図書館内部の人間が、書物をつくりだす世界」について、どれだけ知らないでいたのか」と改めて痛感しています。今回は図書館利用者向けのセミナーとして企画しましたが、図書館員の人材育成研修という面からも、とても有意義な内容であると感じています。

一方で、本企画の人文会側担当者である橋元氏(人文会図書館グループ、東京大学出版会)は、図書館グループの活動の柱の一つに「人文書を媒介にしたライブ러리

アンとの交流」を挙げています（「人文会ニュース」一〇四号）。それが果たされたのか、という点においては、ようやく初めの一步が踏み出されたという状況だと感じています。図書館側担当者である私自身はセミナーの準備・実施等を通して、出版に関わる人々と図書館員、さらに流通・販売に関わる人々が交流することの重要性を体感することができました。そして、交流を広げていくための次のステップとして、千代田図書館内外の多くの図書館員を巻き込む仕掛けづくりが必要であることも、重ねて痛感しました。

また、図書館と「出版」という視点から本企画を振り返ってみると、より本質的な主題が見えてくるように思われます。千代田区内には出版社・書店・古書店などが多く集まっていることから、千代田図書館では出版関連業を区の地域産業の一つとして考えており、資料収集や事業方針においても「出版」を重要なテーマとしています。しかしまた、図書館資料のほとんどが出版物ですから、「出版」は千代田に限らず全ての図書館にとって非常に関連が深いテーマです。各図書館が「どのように書物をつくりだす世界」に関わっていくか？」という

本質的な主題について考えるときにも、この人文会連続セミナーの事例がなんらかの参考となれば幸いです。

今後の連携事業として、二〇〇九年秋（九月二十八日）～十二月二日（土）に人文書と人文会会員社を紹介する企画展示を千代田図書館で開催します。また、展示時期に合わせて公開座談会も予定しています。

本企画を開催するにあたって、各回講師をご担当くださいました各位に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

（かわい　いくこ・千代田区立千代田図書館　企画チーフ）

【企画展示】

「人文書のすすめ～じっくり読みたい三〇〇冊を集めました」

期間　九月二十八日（月）～十一月二日（土）

場所　千代田図書館九階展示ホール

【展示関連トークイベント】

「本づくりのプロに聞く、大人のための読書術～本を選

ぶときのポイント〈番外編〉

日時 一〇月二七日(火) 一九時～二〇時半

講師 吉川弘文館 前田求恭

未来社 西谷能英

筑摩書房 熊沢敏之

平凡社 関口秀紀

東京大学出版会 竹中英俊

みず書房 持谷寿夫

千代田図書館長 新谷迪子

場所 千代田図書館九階特設イベントスペース

※ 一〇月一日(木)より千代田図書館(03-5211-4289)にて受付(一〇時～一八時)

をこないます。

(定員四〇名、事前申込・先着順、参加費無料)

2008 年度人文会活動報告

5/16 ★第 41 回（2007 年度）人文会総会

場所：上野 水月ホテル「鷗外荘」

出席：正担当者 18 名 副担当者 1 名 代理 1 名 合計 20 社 20 名

開始 14：05 終了 17：00

議事：

①代表幹事挨拶／総会議長選出／2007 年度活動全般報告（書記）／会計報告（会計）

②2007 年度各委員会活動報告（販売・広報）

③休会・入会の承認：草思社休会の確認

④役員改選

代表幹事：鎌内宣行／会計：平石修／書記：新保卓夫

*委員会構成（◎委員長 ○副委員長）

■販売委員会

・企画グループ○華園斉・水谷幹夫・馬場正彦・駒谷光彦

・研修グループ◎田崎洋幸・小倉研二・根井浩一

・図書館グループ○橋元博樹・成田共助・三橋直也

■広報委員会

・広報グループ◎吉武創・三上直樹・高橋千代

・HP グループ○桃野一郎・小林丈生・江波戸茂

（総会幹事 吉武・高橋）

5/22 人文会ニュース 103 号刊行

5/28 ○2008 年度人文会新役員の取次店挨拶回り

○挨拶 ジュンク堂岡専務へ

「人文会 40 周年記念行事への協力要請」

参加：三役（代表幹事・会計・書記）

6/2 ○挨拶 紀伊國屋書店 店売総本部 市橋専務 安藤理事

紀伊國屋書店新宿本店 16：00～17：30

「人文会 40 周年記念行事への協力要請」

参加：幹事 7 名

6/4 ★3 目録刊行会合同懇親会

場所：出版クラブ会館

時間：18：00～20：00

主催：人文図書目録刊行会・歴史図書目録刊行会・国語国文学目録刊行会

6/18 ★6月例会

出版クラブ会館にて 15：00～17：00

・ジュンク堂札幌店出店説明（岡専務・宇田氏）来会

6/11～7/25 ◎特約店グループ訪問

・京都 大阪 兵庫 6/11～13

・長野 群馬 新潟 6/25～27

・四国 7/17～19

・石川 富山 7/17～19

・島根 鳥取 岡山 7/23～25

7/2 ★幹事会

日本橋 ルノワール 17：00～18：00

「人文書のすすめⅣ」分野別データについて／40周年記念イベントについて

7/2 ○挨拶訪問

丸善 店舗事業部副事業部長嶽山義治氏／営業企画部部長西川仁氏／和書企画グループ徳永圭子氏／営業推進部部長守田一雄氏

「人文会40周年記念行事への協力要請」

参加：幹事6名

7/16 ★7月例会

神田文化産業信用組合にて 15：00～17：00

・日販書籍部 金田部長・小川課長来会

18：00～ 日販書籍部様との懇親会（漢陽楼にて）

8/20 ★8月例会

神田文化産業信用組合 14：50～17：00

・15：00～15：30 フタバ図書 世良社長・木村斉氏 「新規出店についての説明と依頼」

9/2 ○新店説明会 阪急ブックファースト新宿店

吉川弘文館 15：00～17：00

阪急：隅山氏／梶野氏

9/3 ★臨時幹事会

春秋社会議室 14：00～17：00

幹事6名／水谷・西谷

「人文書のすすめⅣ」基本図書データのチェック

- 9/15 人文会ニュース 104 号刊行
- 9/16 ★9 月例会
出版クラブ会館 15:00~17:00
・文化通信社 浴野英生氏来会挨拶
- 9/24 ○2009 年 5 団体合同新年会打ち合わせ
本郷 喫茶「こころ」 14:00~16:00
・国語国文学研究会 白石／杉本／関口／大久保
・歴史書懇話会 馬場
・大学出版部協会 市川
・人文会 鎌内／新保
- 10/15 ★10 月例会
出版クラブ会館 15:00~17:00
- 10/20 人文会 40 周年記念出版『人文書のすすめⅣ—人文書の見取り図と基本図書』刊行
- 10/23 ★人文会創立 40 周年記念東京合同研修会—人文書の可能性を探る—1 日目
日本出版クラブ会館 13:00 受付 13:30 開会
・研修参加者書店 103 名
13:30 開会の挨拶 鎌内宣行
13:40 特別講演 教養主義の没落と人文・社会科学 講師：竹内洋（関西大学教授）
15:10 パネルディスカッション第 1 部 「人文会の 40 年と人文書の可能性」
福島章（ジュンク堂）／菊池明郎（筑摩書房）／橋元博樹（東京大学出版会）／〔司会〕持谷寿夫（みすず書房）
16:40 パネルディスカッション第 2 部 「人文書販売の現在と未来」
池田忠夫（大垣書店烏丸三条店）／市岡陽子（喜久屋書店倉敷店）／鈴木孝信（あゆみブックス早稲田店）／吉田敏恵（紀伊國屋書店新宿本店）／〔司会〕鎌内宣行（春秋社）
18:00~20:00 レセプション 168 名参加
《総合司会》新保卓夫（誠信書房）
- 10/24 ★人文会創立 40 周年記念東京合同研修会—人文書の可能性を探る—2 日目
アルカディア市ヶ谷（私学会館） 9:00 受付 9:30 開会
9:30~11:10 第 3 部 報告「人文書の最前線」
ゲストスピーカー：小林浩（月曜社取締役・ウラゲツブログ主宰）／飯

- 野勝己（平凡社編集部）／磯知七美（筑摩書房新書編集部）／山田秀樹（東京大学出版会編集部）／〔司会〕 吉武 創（勁草書房）
 11：30～12：50 第4部 フリーディスカッション「人文書販売の未来をデザインする」
 〔司会〕 華園 斉（創元社）／田崎洋幸（みすず書房）
 12：50～13：00 閉会の挨拶
- 11/7 ★臨時幹事会
 飯田橋ホテルメトロポリタンエンドモント 16：00～17：00
 議題：東京合同研修会総括
- 11/12 ★打ち合わせ会
 吉川弘文館 16：00～17：30
 参加者：横井、鎌内、新保、
 議題：人文会／歴史書懇話会合同 創立40周年記念謝恩忘年会について
- 11/19 ★11月例会
 神田文化産業信用組合 15：00～17：00
- 12/4 ★人文会・歴史書懇話会合同「創立40周年記念謝恩忘年会」
 出版クラブ会館 鳳凰の間 18：00～20：00
 《式次第》
 主催者代表挨拶 歴史書懇話会代表幹事 横井真樹雄（吉川弘文館）
 乾杯 人文会会長 菊池明郎（筑摩書房）
 コメント
 (株)トーハン 書籍MD部長 関口 晴生
 日本出版販売株(株) 書籍部長 金田 徹
 (株)大阪屋 執行役員商品本部 副本部長 和田 年正
 栗田出版販売(株) 書籍仕入部 部長 森岡 忠弘
 (株)太洋社 取締役仕入本部長 牧野 伸一
 中締め 人文会代表幹事 鎌内宣行（春秋社）
 司会 新保卓夫（人文会／誠信書房） 馬場辰也（歴史書懇話会／東京堂出版）
- 12/19 ★12月例会
 出版クラブ会館 15：00～17：00
- 2009年
- 1/21 ★1月例会
 出版クラブ会館 15：00～17：00
- 1/30 ★人文社会科学系出版5団体合同新年会
 ホテル・メトロポリタンエンドモント 18：00開演

当番幹事団体：国語・国文学出版会

人文会出席者：44名

2/18 ★2月例会

出版クラブ会館 15：00～17：00

・ジュンク堂 新規店説明挨拶（岡専務・宇田氏／トーハン田沼マネジャー）15：00～15：30

・フタバ図書 新規店説明挨拶（世良社長・木村氏）16：30～17：00

3/6～3/19 沿線別特約店訪問

・3/6 中央線沿線（担当：根井）参加者 13名

・3/13 東海道線沿線（担当：田崎）参加者 10名

・3/19 つくばエクスプレス沿線（担当：小倉）参加者 12名

3/18 ★3月例会

出版クラブ会館 15：00～17：00

・リード～ジャパン 天野氏 TBF 説明 15：00～15：20

4/15 ★4月例会

出版クラブ会館 15：00～

・フタバ図書 新店挨拶（木村氏・権藤氏・安永氏）15：00～15：20

4/24 ★日販王子流通センター見学会 10：00～11：30

参加：12社 17名

日販：鈴木部長／斉藤課長／渡辺係長／丸山氏

4/28 ○千代田図書館／人文会連携セミナー「本を選ぶときのポイント」

千代田図書館 9階 19：30～20：30

「国史大辞典」物語 吉川弘文館社長 前田求恭氏

4/30 ★臨時幹事会

筑摩書房会議室 15：00～18：30

3役／正副委員長

議題：2009年度の活動方針

5/10 人文会ニュース 105号（創立40周年記念東京合同研修会特集号）刊行

以上

（書記幹事：新保卓夫）

第四二回（二〇〇八年度）人文会年次総会報告

書記 新保卓夫

第四二回の人文会年次総会は、平成二十一年五月一四日に札幌市の京王プラザホテルにおいて全会員社出席のもとに開催されました。

議事は、二〇〇八年度（二〇〇八年五月一日～二〇〇九年四月三〇日）の全般的な活動報告から始まり、会計報告、販売委員会・広報委員会の活動報告と続き、新年度に向けての役員改選及び各委員会の所属メンバーを決定し、無事終了いたしました。

代表幹事には、昨年度に引き続き鎌内宣行氏（春秋社）が全会一致にて選出されました。

会計幹事には平石修氏（御茶の水書房）、書記幹事には新保卓夫（誠信書房）が引き続き選出されました。

また、菊池明郎氏（筑摩書房）の会長留任が承認されました。

今年度より委員会の構成を変更し、販売企画委員会、調査・研修委員会、広報委員会の三委員会体制で活動に当てることになりました。会活動が多様化し、様々な課題への対応にも迅速化が求められる状況下で、各委員会の連携を深め、より機能的に活動する事を目指した体制となります。

それぞれの委員長には、販売・企画委員長に橋元博樹氏（東京大学出版会）、調査・研修委員長に田崎洋幸氏（みず書房）、広報委員長に吉武創氏（勁草書房）が選出されました。

今総会において柏書房より入会申請があり、会員社の投票により入会が承認されました。
また、晶文社より休会願いが提出され、受理されました。

なお担当者の変更があつた社は、慶應義塾大学出版会（小林氏↓大野氏）、日本評論社（江波戸氏↓朝倉氏）、未來社（水谷氏↓和久津氏）です。

委員会構成員の詳細は、巻末の「人文会名簿」をご参照ください。

委員会活動方針

販売・企画委員会

委員長 橋元博樹

販売・企画委員会は、従来の販売委員会企画グループと同委員会図書館グループの活動をあわせるかたちで、今年度より新たに発足した委員会です。

活動の主な軸が人文書の販売にあることは言うまでもありませんが、日々変化する環境に対応した新しいマーケティング手法が求められている昨今でもありますので、新しい方法（というのは、例えばネットを駆使したプロモーションやPOSデータに基づいた販売戦略などのことです）をも念頭に置きながら、従前の人文会の活動の蓄積の上に築きあげてきた、書店様、取次様との信頼

関係とネットワークを活用し、さらに発展させることが大きな責務であると思います。

一方で、この春より旧図書館グループが図書館の皆様と企画・運営してきた「千代田図書館人文会連続セミナー」も、会員各社を代表する講師陣が図書館利用者に語りかけるユニークな企画として参加者には毎回好評を得ております。出版社と図書館の合同セミナーという、おそらく業界でもはじめての取り組みから、何が生まれるかに注目していただきたいと思います。

書物の出会いの場としての書店と図書館——。書物を取り巻くこのような場に、人文会がどのようにアプローチできるかということ問い続けながら一年間活動していきたいと思っています。

駒谷光彦（大月書店）

三橋直也（紀伊國屋書店）

○華園 斉（創元社）

○橋元博樹（東京大学出版会）

根井浩一（平凡社）

（○委員長／○副委員長）

調査・研修委員会

委員長 田崎洋幸

秋季旅行の際に行う研修会を中心に、法人別研修会、個別単店の研修など、従来行ってきた研修会の継続、また充実させることを第一義として考えます。更に今期からは調査部門が併設されたことにより、会員社間の情報共有もメインテーマとなります。

研修会は書店ご担当者に対する啓蒙活動の側面が強く、短期で販売に結びつくような即効性は期待できません。受講者のやる気、キャリア、また店舗責任者、経営者のご理解に頼る部分が大きく、感じ取ることが出来る効果はまちまちです。しかしながら、研修をきっかけに大きく成長されるご担当者がいることも事実であり、その方々のサポートも重要な責務となります。研修後のアフターサービスを充実させ、更なる関係強化に繋げたいと

考えます。

新刊初版部数の減少、過剰とも思える大型書店の出店が続く昨今、多くの出版社が販売手法の見直し、精査の必要に迫られています。このことは出版社が意図的に販売チャンネルを選択せざるを得ないことを意味します。そのための判断材料となる情報の共有化を会員社間で図りたいと思います。具体的に、新規店への出品および販促情報、各社の常備店情報、特約店の選定および情報発信の方法等になります。会員各社の協力がなければ有用な情報とはなりませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

富澤凡子（柏書房）

○桃野一郎（筑摩書房）

朝倉哲哉（日本評論社）

小倉研二（白水社）

○田崎洋幸（みすず書房）

（○委員長／○副委員長）

広報委員会

委員長 吉武 創

昨期まで広報委員会は広報グループとホームページグループの二つのグループに分かれて活動してきましたが、今期は二つのグループを統合して、新たに広報委員会として活動します。

今期の広報委員会は、活動の二つの柱である「人文会ニュース」と「ホームページ」を中心に活動をしていきますが、制作などで関わっている「人文図書絵目録」についても担当者を決めて、目録の普及に努めていきます。さらに今期は人文会の会活動をより多くの書店様、取次会社様、図書館様に知っていただくための会の広報活動もしていきたいと考えています。

「人文会ニュース」については、人文書の販売や蔵書に役立つ記事を提供するとともに、人文会の広報誌とし

て積極的に会活動を紹介していきたいと考えております。また「ホームページ」では、昨年刊行した『人文書のすすめⅣ』に掲載した新ジャンルにリニューアルした基本図書のデータを公開する予定です。会員各社の新刊についても、新ジャンルで公開する作業を進めます。

昨期は広報グループとホームページグループ二つのグループに分かれて活動してきましたが、今期は一つの委員会として、委員会内でお互いに連携をとりながら活動をしていきたいと思ひます。

委員会のメンバーは以下の通りです。

大野友寛（慶應義塾大学出版会）

◎吉武 創（勁草書房）

成田共助（法政大学出版局）

○三上直樹（ミネルヴァ書房）

和久津寛英（未來社）

馬場正彦（吉川弘文館）

（◎委員長／○副委員長）

二〇〇九年特約店グループ訪問報告

福島・山形・仙台方面

報告 新保卓夫（誠信書房）

● 期日 六月二四日（水）～六月二六日（金）

● 参加メンバー 桃野（筑摩書房）・橋元（東京大学出版会）・三上（ミネルヴァ書房）・水谷（未来社）・新保（誠信書房）

● 訪問書店 【郡山】岩瀬書店富久山店 【福島】岩瀬書店中合店 【山形】八文字屋北店・戸田書店山形店・こまつ書店寿町本店・八文字屋本店・八文字屋商品部 【仙台】ジュンク堂仙台ロフト店・ジュンク堂書店仙台店・丸善仙台アエル店・金港堂（見学のみ）・東北大学

生協文系店・あゆみBooks仙台青葉通店・あゆみBooks仙台店・紀伊國屋書店仙台営業所・八文字屋書店セルバ店・八文字屋書店泉店・紀伊國屋書店仙台店（計一八店舗）

● 感想…出がけに降っていた雨も北へ向かうにつれ小降りになり、郡山に着いた頃にはすっかり上がっていた。早速に車で一五分ほどの岩瀬書店富久山店へ、さらに福島へ移動して岩瀬書店中合店を訪問した。どちらも苦戦を強いられている様子だ。市街地から郊外へと商圏の移行が著しいが、その郊外店も「土日は、高速バスで一時間弱の仙台にお客さんを取られている」とのことである。

続いて一行は新幹線つばさ号で山形へ。駅前からタク

シーに分乗して、八文字屋北店、戸田書店山形店の二軒の郊外店を訪問。典型的な土日型で人文書については、「これから」といった様子。次のこまつ書店は半郊外といったお店。お客さんはまずまずの入りで、やり方次第ではもう少し伸ばせそう。この日の最後は、老舗の八文字屋本店。その老舗の斜め前のビルに昨年暮れに宮脇書店が六〇〇坪で開店した。「影響が大きいのでは」と水を向けたが、「それほど」と意外な返事が。余裕だろうか？　ただ、影響なしとは考えにくい。厳しい戦いはしばらく続くのだろう。

前夜の懇親会ですっかり山形の味を満喫した一行は、いざ仙台へ。一〇分おきに出発する高速バスは、どれもほぼ満席状態。仙台へ通勤している人も多いようだ。

仙台市内はあまり大きな変化はない。ただ平成二十七年に開通予定の地下鉄東西線の工事が各所で目につく。駅周辺のジュンク堂二店舗VS丸善アエルの戦いは、どうやら丸善が頭ひとつリードしている感がある。南北に位置する八文字屋、紀伊國屋書店も主だった変化はない。ただ、住宅造成が南北に広がり、人口が増加している。新たなSCが近隣にできる可能性もあり、そうすると客

の流れが、大きく変わるかもしれない。

今回、訪問コースに初めて加えさせてもらった紀伊國屋書店仙台営業所の方々と話し合いは、人文書の新たな売り方を模索する上で大いに参考になった。

少人数で行動するこのG訪問は、小回りがきき、何より書店の方々と膝を交えての話しができる利点がある。難問積載の厳しい時代ではあるが、なす術を失ったわけではない。人と会い、本音で語り合うなかで解決の光が見えるのではないかと、訪問の旅を終えて思った。

最後になるが、ご多忙にもかかわらず快く対応していただいた訪問書店の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

京都・滋賀方面

報告 三橋直也（紀伊國屋書店）

● 期日 六月二五日（木）～六月二六日（金）

● 参加メンバー 田崎（みすず書房）・吉武（勁草書房）・朝倉（日本評論社）・三橋（紀伊國屋書店）

● 訪問書店 【京都】アバンティBC京都店・京都

大学ルネ店・ジュンク堂京都BAL店・ブックファースト京都店・ジュンク堂京都店・大垣書店四条店・大垣書店烏丸三条店・紀伊國屋書店京都営業部・【滋賀】紀伊國屋書店大津店・喜久屋書店草津店・大垣書店一里山店・サンミュージック草津店・サンミュージック彦根店（計一二店舗）

● 感想…京都地区は二年前の秋季研修旅行にて人文会全社で訪問、その時と書店環境はほぼ変わらず、と思いきやブックファースト京都店の思いがけない縮小リニューアルの話には驚かされた。本年四月にオーブンの大垣書店四条店の隣では大型ビルが建築中でやはり四条通、河原町通り、烏丸通りからは目が離せない。

成熟した市場という印象の京都だが駅前も含めまだまだ何が起ころかわからない。

滋賀県は京都に近すぎる事と琵琶湖東岸はついつい通過地区のイメージがあり、グループ訪問の候補地にはならなかった。しかし昨年末に近江大橋を渡った直ぐの広大な敷地にイオンモールが専門店街二〇〇店舗、映画館、スーパーマーケットを有して出店、テナントとして喜久

屋書店が入店。

同時期に大津市一里山（ここも車で一〇分程度で商圈が重複する）に大和ハウス運営のフォレオショッピングモールが出店、テナントとして大垣書店が入店し一気に書店激戦地区になった。

京都への電車の便は良いものの車は渋滞がひどいとの事でこれだけの大型店が出来れば地元で済ませる消費者も多いことだろう。

昨年実施した四〇周年東京研修会に参加いただいた書店員とも多く再会出来、人文会と現場担当者とのパイプが太くなった事を実感した。

今回は特約店訪問に加え、紀伊國屋書店京都営業部との意見交換の場もあった。

版元営業担当、紀伊國屋書店営業担当ともに従来交流の機会無く、双方の認識共有、人的なパイプ作りの目的で訪問した。結局は人間関係「顔の見える版元の商品は売ってみよう」という事になる。

人文会基本図書のデータと大学所蔵データをぶつけ欠本補充に繋げる様な営業は可能か提案、版元・紀伊國屋書店双方に大きな負担が無く、且つある程度の規模のビ

ジネスが出来れば理想である。

地方大学では地元書店を擁護するため注文をコントロールする所もあるが人文会会員社の本を購入いただく為には提案の出来る書店と組んで行く事が必要になってくるだろう。

外商部隊と協業し、図書館市場に向けた単行本販売の新しいビジネスモデルを確立していきたい。

奈良・和歌山・大阪方面

報告 平石修 (御茶の水書房)

● 期日 七月二三日(木) ～ 七月二五日(土)

● 参加メンバー 富澤(柏書房)・大野(慶応義塾大学出版会)・鎌内(春秋社)・根井(平凡社)・平石(御茶の水書房)

● 訪問書店 (奈良) 啓林堂書店奈良店・くまざわ書店奈良店・喜久屋書店橿原店 (大阪) 紀伊國屋書店大阪営業部・紀伊國屋書店梅田本店・旭屋書店本店・ブツ

クファースト梅田店・ジュンク堂書店ヒルトンプラザ店・ジュンク堂書店難波店・ジュンク堂書店千日前店・ジュンク堂書店大阪本店 (和歌山) 宮井平安堂・宮脇書店ロイネット和歌山店・TSUTAYA WAWA ガーデンパーク和歌山店 (計一四店舗)

● 感想…奈良・和歌山という普段は行かない地域を含んだ書店訪問でした。人文書がそろっている書店とは、その地域でも大型書店であり、売れ行きの面でも当然我々の目もそちらにいつてしまいがちである。しかし二〇〇坪未満の書店で人文書の棚作りに魂を込め、日夜奮闘している人に会えたのはラッキーだった。

啓林堂書店奈良店の西田店長もその一人と言える。六段棚に宗教や心理などを詰めた人文書棚の売上は一〇〇万円ぐらいあったのが、現在は七〇万円ぐらいに落ちていくとのこと。新聞広告に出た本の問い合わせ、書評に載った本の在庫などお客様は新刊書籍についての関心が高いという。しかし、そういうお客様に対応できていないのが現状で、人文会に力になって欲しいという要請がありました。

紀伊國屋書店大阪営業部は、昨年に続き人文会二度目

の訪問です。雨のなか阪急「蛍池」に車で迎えにきていただいていたのが午後六時二〇分。一三名の方が待ち受けていました。いまだに顔と名刺が一致しません。根井さんの司会で、まず才田理事の営業部の仕事の説明から研修会が始まり、教養主義の没落で実用的な本しか購入しない大学図書館。図書費用のカットやシリーズものの欠本調査と話はひろがりました。議論は懇親会へと続きましたが、私は沖縄の生オリオンビールしか記憶がありません。

オープンしたばかりのジュンク堂書店難波店を訪問しました（以前の難波店は千日前店に名称変更）。「広くて、本がいっぱいある」が第一印象です。開店そうそうで忙しいと思う、気をきかして店と棚を見て引き上げようとしたところ、福嶋店長が現れ、「喫茶店予約してあるでー」と一言。「本の力」「紙のすばらしさ」についての講義を受け、質疑・応答にはいりました。難波店はかつてのサンパル店をイメージし、奈良・三重・和歌山、紀伊半島にいるすべての人に満足いただける店をめざしたオーソドックスなお店にしたいとも言っていました。

二泊三日の書店訪問でしたが、たくさんの書店の方々

とお話が出来ました。人文会が出来ること出来ないこといろいろ有ると思います。少しでもお役に立つよう努力したいと思います。一人一人お名前はあげませんが、お忙しいなか応対いただいた皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

九州方面

報告 華園斉（創元社）

● 期日 七月二七日（月）～七月二九日（水）

● 参加メンバー 駒谷（大月書店）・小倉（白水社）・古川（法政大学出版局）・馬場（吉川弘文館）・華園（創元社）

● 訪問書店 フタバ図書TERA福岡東店・紀伊國屋書店福岡本店・あおい書店博多本店・紀伊國屋書店ゆめタウン博多店・丸善福岡ビル店・ジュンク堂書店福岡店・紀伊國屋書店九州営業部福岡営業所・紀伊國屋書店熊本光の森店・金龍堂まるぶん店・喜久屋書店熊本店・

蔦屋書店熊本三年坂・リプロ熊本店・紀伊國屋書店鹿児島店・ジュンク堂書店鹿児島店・鹿児島大学生協中央店・くまざわ書店与次郎店・ブックスミスミオプシア店・旭屋書店イオン鹿児島店（計一八店舗）

● 感想…九州地区は弊会として二年ぶりの訪問であった。博多地区は最近大きな動きはないが、二年後に完成する新博多駅ビルには大手ナショナルチェーンの出店がほぼ決まったとされ、また三年後には駅ビルの隣にある郵便局が商業ビルに建て替えられることも決まったという。大きな変化が予想されるが、紀伊國屋書店福岡本店もあおい書店博多本店もそれぞれ自店のお客様を重視した品揃えを目指す。天神地区は新地下鉄の影響も見られず風の状態か。ジュンク堂書店福岡店は店内改装により一階新刊台が移動したことが残念。郊外のSC内書店は競合SCが出来るたびに影響を受けている。紀伊國屋書店福岡営業所の方々との会合は、現在の大学図書館の状況など教えていただくことが多く非常に勉強になった。

熊本地区で驚いたのは蔦屋書店熊本三年坂。前回訪問時の印象はおしゃれなお店だったが、四年を経て本格派に変貌していた。なかでも地元大学の先生に選書しても

らった本をフェア展開している「教授の本棚」は秀逸。その中にお店とお客さん（＝著者と著者周辺）の濃密なコミュニケーションがある。月替わりで継続している点も素晴らしい。紀伊國屋書店熊本光の森店では、福祉の棚が光る。担当者の熱意がうかがえる。

鹿児島市内はこの数年で一気に書店地図が塗り変わった。旭屋書店、紀伊國屋書店、くまざわ書店、ジュンク堂書店とナショナルチェーンの揃い踏みである。しかも皆担当者が熱心である。さらに新興のブックスミスミオプシア店の健闘が光る。新旧が力を出して競い合っている、そんな状況から生まれる新しい力に希望をみた思いがした。話はそれるが、今回一番質問が多かったのが「哲学・思想」をどう並べるか。これに対し今回は法政大学出版局古川氏が奮闘、懇切丁寧に対応してくれたが、『人文書のすすめⅣ』に収録されている基本図書リストを是非ご活用下さい。近日中に人文会HP (<http://www.jimbunkai.com/>) にアップ予定でもあります。最後にお忙しいなかわざわざお時間を作ってください。ありがとうございました。

人文会会員社 新刊のご案内

(2009. 5~2009. 7)

哲学・思想

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔哲学 (事典・概論・哲学史)〕				
思想史論集 ハイエク全集第二期 第七巻	F. A. ハイエク著・八木紀一郎他訳	4200	9784393621974	春秋社
中学生からの哲学「超」入門	竹田青嗣	800	9784480688194	筑摩書房
西洋美学史	小田部胤久	2800	9784130120586	東京大学出版会
ドストエフスキーの世界観	ニコライ・アレクサンドロヴィチ・ベル ジャーエフ	3500	9784560080078	白水社
主体と空間の表象	谷川多佳子	2300	9784588100154	法政大学出版局
例解・論理学入門	弓削隆一・佐々木昭則著	2200	9784623054671	ミネルヴァ書房
〔倫理学〕				
ホモ・サピエンスの牢獄	甲田純生	2500	9784623054527	ミネルヴァ書房
〔近代哲学〕				
カントはこう考えた一人はなぜ「なぜ」と問うのか	石川文康	1000	9784480092144	筑摩書房
ベンヤミン	ハワード・ケイギル他	1100	9784480091987	筑摩書房
〔マルクス思想・批判理論〕				
カール・マルクスの弁明 社会主義の新しい可能性のために	聴濤弘	1600	9784272430802	大月書店
マルクス・フォー・ビギナー1 共産党宣言	マルクス＝エンゲルス著・浜林正夫解説	1200	9784272005314	大月書店
マルクス・フォー・ビギナー2 空想から科学へ	エンゲルス著・浜林正夫解説	1200	9784272005321	大月書店
マルクスは生きている	不破哲三	720	9784582854619	平凡社
サバタイ・ツヴィ伝	ゲルショム・ショールム著・石丸昭二訳	15000	9784588009174	法政大学出版局

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
引き裂かれた西洋	ユルゲン・ハーバーマス著・大貫敦子 (他) 訳	3400	9784588009204	法政大学出版局
アドルノ文学ノート1 〔現象学・実存主義〕	テオドル・W. アドルノ	6600	9784622074700	みすず書房
ロンドン論集とさいごの手紙	シモーヌ・ヴェイユ著・田辺保・杉山毅 訳	3600	9784326154043	勁草書房
精神科学成立史研究 〔構造主義・ポスト構造主義〕	ディルタイ著・宮下啓三編・白崎嘉昭編	24000	9784588121074	法政大学出版局
バベルの後に (下)	ジョージ・スタイナー著・亀山健吉訳	6000	9784588004001	法政大学出版局
日本戦没学生思想	岡田裕之	3300	9784588130175	法政大学出版局
技術と時間 1—エビメテウスの過失—	ベルナル・スティグレル著・西兼志 訳	4200	9784588120725	法政大学出版局
〔言語哲学〕 現代唯名論の構築	中山康雄	3200	9784393323281	春秋社
〔分析哲学〕 〈自己〉の哲学	黒崎宏	2600	9784393323267	春秋社
〔科学哲学〕 オックスフォード科学の肖像 チャールズ・バベツ ジ コンピュータ時代の開拓者	オーウェン・ギンガリッチ編集代表	2000	9784272440542	大月書店
セックス・アンド・デス 生物学の哲学への招待 〔日本の哲学・思想 (近代)〕	キム・ステレルニー他著・太田紘史他訳	4700	9784393323236	春秋社
西洋事情	福澤諭吉	1400	9784766416220	慶應義塾大学出版会
福翁百話	福澤諭吉	1400	9784766416251	慶應義塾大学出版会
明治人の観た福澤諭吉	伊藤正雄編	3200	9784766416541	慶應義塾大学出版会
文明論之概略	福澤諭吉	1400	9784766416244	慶應義塾大学出版会
学問のすゝめ	福澤諭吉	1000	9784766416237	慶應義塾大学出版会

書 名 ・ シ リ ー ズ 名	著 者	本 体	I S B N	出 版 社 名
福翁自伝 福澤全集緒言 〔日本の哲学・思想（戦後思想）〕	福澤諭吉	1600	9784766416268	慶應義塾大学出版会
環境世界と自己の系譜 〔日本の現代思想〕	大井玄	3400	9784622074724	み す ず 書 房
日本人の心 増補新装版 吉本隆明 1968	相良亨 鹿島茂	2800 960	9784130130905 9784582854596	東 京 大 学 出 版 会 平 凡 社
心 理				
〔心理一般〕				
腰痛ガイドブック CD 付き	長谷川淳史	1500	9784393713754	春 秋 社
行動するうつへ 〔基礎心理〕	上野玲	1600	9784535562837	日 本 評 論 社
ウィリアム・ジェームズと心理学 〔社会心理〕	藤波尚美	2700	9784326298938	勁 草 書 房
影響力の武器 実践編	N. J. ゴールドスタイン・S. J. マーティン・R. B. チャルディーニ著	2000	9784414304176	誠 信 書 房
〔発達心理〕				
子どものこころの不思議—児童精神科の診療室から 発達 119 号	村田豊久	2800 1200	9784766416381 9784623055234	慶應義塾大学出版会 ミネルヴァ書房
〔臨床心理〕				
気づきのセラピー	百武正嗣	1700	9784393360521	春 秋 社
フォーカシング指向アートセラピー	ローリー・ラバポート著・池見陽・三宅麻希監訳	3800	9784414414370	誠 信 書 房
医療と心理臨床—HIV 感染症へのアプローチ 〔日本の心理臨床 2〕	矢永由里子	2600	9784414413151	誠 信 書 房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
からだところ——身体性の臨床心理（日本の心理臨床3）	成瀬悟策	3200	9784414413168	誠信書房
四天王寺カウンセリング講座 9	東山紘久・氏原寛・奈倉道隆・高石恭子・グラバア俊子・村瀬嘉代子著	1800	9784422113593	創元社
河合隼雄のカウンセリング教室 〔精神分析〕	河合隼雄	1500	9784422114224	創元社
罪の日本語臨床	北山修・山下達久監修	3000	9784422114200	創元社
精神分析臨床を生きる	サンドラ・ビューチュラー著・川畑直人・鈴木健一監訳	4000	9784422114217	創元社
〈雅子さま〉はあなたと一緒に泣いている 〔精神医学〕	香山リカ	600	9784480426062	筑摩書房
うつと身体〈からだ〉の声を聞け	アレクサンダー・ローエン著・中川吉晴他訳	2600	9784393366301	春秋社
精神医学を知る メンタルヘルス専門職のために	金生由紀子編・下山晴彦編	3200	9784130121026	東京大学出版会
子ども臨床へのまなざし	村田豊久	3000	9784535562639	日本評論社
新訂老年期うつ病	高橋祥友	2000	9784535804227	日本評論社
自傷からの回復	V.J. ターナー	4200	9784622074625	みすず書房
臨床瑣談続	中井久夫	1900	9784622074816	みすず書房
ヒーリー精神科治療薬ガイド第5版	デイヴィッド・ヒーリー	4500	9784622074748	みすず書房

宗 教

〔宗教一般〕

正法現蔵 5 道元禅師全集第五巻	水野弥穂子	5500	9784393150252	春秋社
「千と千尋」のスピリチュアルな世界 〔仏教（インド・中国・チベット他）〕	正木晃	1800	9784393203200	春秋社
「成唯識論」を読む	竹村牧男	7500	9784393112748	春秋社

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
密教の神々 〔仏教（日本）〕	佐藤任	1500	9784582766738	平凡社
法然上人とその弟子西山上人	ひろさちや	1500	9784393133798	春秋社
関山慧玄禅師伝	廣田宗玄	2500	9784393141144	春秋社
もう死んでもいいのですか、ありがとう	足立大進	1524	9784393133828	春秋社
顯教 7 続天台宗全書	天台宗典編纂所	22000	9784393171295	春秋社
なぜいま「仏教」なのか 現代仏教のゆくえ	奈良康明・山崎龍明	1800	9784393106068	春秋社
日本人のこころの言葉 日蓮	中尾堯	1200	9784422800523	創元社
日々是修行—現代人のための仏教 100 話	佐々木閑	720	9784480064851	筑摩書房
歎異抄	親鸞・唯円著・阿満利磨訳注解説	1000	9784480092205	筑摩書房
〔その他の宗教〕				
神と人のはざまに生きる 近代都市の女性巫者 〔精神世界〕	アンヌ・ブッシイ	3200	9784130132008	東京大学出版会
ホリスティック養生訓	帯津良一	1800	9784393710708	春秋社
心とからだのデトックス	原久子	1500	9784393365007	春秋社
彼岸の時間〈意識〉の人類学	蛭川立	2500	9784393291979	春秋社
ブッダのサイコセラピー 心理療法と「空」の出会い	マーク・エプスタイン著・井上ウイマラ訳	2500	9784393364840	春秋社

歴 史

〔歴史一般〕

歴史学と社会理論 第2版	ピーター・パーク・佐藤公彦訳	5800	9784766416343	慶應義塾大学出版会
中世の都市 史料の魅力, 日本とヨーロッパ	高橋慎一郎編・千葉敏之編	3200	9784130230575	東京大学出版会
中世 日本と西欧	近藤成一・小路田泰直・R.ホレス・D.タランチュエフスキ編	9500	9784642028851	吉川弘文館

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔日本史（概論・通史・史料）〕				
京都市史の研究	山田邦和	9500	9784642093187	吉川弘文館
日本食物史	江原純子・石川尚子・東四柳祥子著	4000	9784642080231	吉川弘文館
〔日本考古〕				
貨幣考古学序説	櫻木晋一	5800	9784766416206	慶應義塾大学出版会
日本考古学 第27号	日本考古学協会編	4000	9784642091022	吉川弘文館
日本考古学年報 第60号	日本考古学協会編	4000	9784642093170	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー276 農耕の起源を探る	宮本一夫	1800	9784642056762	吉川弘文館
〔日本史（古代）〕				
花ひらく大地の女神	高良留美子	1200	9784275008404	御茶の水書房
変奏される日本書紀	神野志隆光	6800	9784130800679	東京大学出版会
秦氏とその民 渡来氏族の実像	加藤謙吉	2800	9784560080108	白水社
一冊でつかむ天皇と古代信仰	武光誠	720	9784582854626	平凡社
なかった第六号	古田武彦直接編集	2200	9784623053377	ミネルヴァ書房
直木孝次郎 古代を語る 8 飛鳥の都	直木孝次郎	2600	9784642078894	吉川弘文館
直木孝次郎 古代を語る 9 飛鳥寺と法隆寺	直木孝次郎	2600	9784642078900	吉川弘文館
直木孝次郎 古代を語る 10 古代難波とその周辺	直木孝次郎	2600	9784642078917	吉川弘文館
飛鳥藤原京木簡 二（別冊「解説」付）	奈良文化財研究所編集	28000	9784642019743	吉川弘文館
歴史文化セレクション 伊勢神宮の成立	田村圓澄	2200	9784642063517	吉川弘文館
日本古代の文字と表記	沖森卓也	10000	9784642085236	吉川弘文館
〔日本史（中世）〕				
天下人の一級史料 秀吉文書の真実	山本博文	2200	9784760135561	柏書房
中世奥羽のムラとマチ 考古学が描く列島史	飯村均	7000	9784130201469	東京大学出版会
真田氏三代	笹本正治	3000	9784623054442	ミネルヴァ書房
日本中世の歴史1 中世社会の成り立ち	木村茂光	2300	9784642064019	吉川弘文館
日本中世の歴史2 院政と武士の登場	福島正樹	2600	9784642064026	吉川弘文館

書 名 ・ シ リ ー ズ 名	著 者	本 体	I S B N	出 版 社 名
日本中世の歴史 6 戦国大名と一揆	池 享	2600	9784642064064	吉 川 弘 文 館
歴史文化ライブラリー272 足利尊氏と直義	峰岸純夫	1700	9784642056724	吉 川 弘 文 館
現代語訳吾妻鏡 6 富士の巻狩	五味文彦・本郷和人編	2400	9784642027137	吉 川 弘 文 館
歴史文化ライブラリー274 北政所と淀殿	小和田哲男	1700	9784642056748	吉 川 弘 文 館
吾妻鏡・玉葉データベース CD-ROM 版 (Windows XP/Vista 対応版)	福田豊彦監修	58000	9784642006026	吉 川 弘 文 館
奥羽から中世をみる	藤木久志・伊藤喜良編	11000	9784642028868	吉 川 弘 文 館
戦争の日本史 11 畿内・戦国の戦国合戦	福島克彦	2500	9784642063210	吉 川 弘 文 館
歴史文化ライブラリー277 吾妻鏡の謎 〔日本史 (近世)〕	奥富敬之	1700	9784642056779	吉 川 弘 文 館
藤沢周平が描ききれなかった歴史―「義民が駆ける」を読む	青木美智男	1800	9784760132485	柏 書 房
百姓たちの江戸時代	渡辺尚志	760	9784480688101	筑 摩 書 房
河竹黙阿弥	今尾哲也	3000	9784623054916	ミネルヴァ書房
浅草寺日記 第 29 巻	浅草寺日記研究会編	10000	9784642032094	吉 川 弘 文 館
寛政改革の研究	竹内誠	13000	9784642034388	吉 川 弘 文 館
近世の朝廷と女官制度	高橋博	11000	9784642034395	吉 川 弘 文 館
日蘭貿易の構造と展開 〔日本史 (近代)〕	石田千尋	18000	9784642034401	吉 川 弘 文 館
工部省の研究―明治初年の技術官僚と殖産興業政策	柏原宏紀	5200	9784766416114	慶應義塾大学出版会
父と子の思想―日本の近代を読み解く	小林敏明	780	9784480064905	筑 摩 書 房
維新とフランス 日仏学術交流の黎明新刊	西野嘉章編・クリスティアン・ボラック 編	8500	9784130202565	東 京 大 学 出 版 会
伊藤博文と韓国統治	伊藤之雄・李盛煥編著	5000	9784623054398	ミネルヴァ書房
旧制高等学校教育の成立	笥田知義	8500	9784623055128	ミネルヴァ書房
日本私有鉄道史研究 増補版	中西健一	10000	9784623055104	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
ニューヒストリー近代日本6 日記をつづるということ	西川祐子	3000	9784642037051	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー275 沖縄戦 強制された「集団自決」	林博史	1800	9784642056755	吉川弘文館
近代日本のメディアと地域社会	有山輝雄	9500	9784642037914	吉川弘文館
明治版画史	岩切信一郎	6000	9784642079105	吉川弘文館
〔日本史（現代）〕				
戦後日本スタディーズ ②60・70年代	岩崎稔・上野千鶴子・北田暁大・小森陽一・成田龍一	2400	9784314010511	紀伊國屋書店
解禁 昭和裏面史	森正蔵	1500	9784480092281	筑摩書房
占領下日本	半藤一利他	2300	9784480857910	筑摩書房
昭和史 1926-1945	半藤一利	900	9784582766714	平凡社
昭和史 戦後篇 1945-1989	半藤一利	900	9784582766721	平凡社
犬養毅	小林惟司	3000	9784623055067	ミネルヴァ書房
〔地方史・郷土史〕				
歴史の旅 甲州街道を歩く	山口徹	1900	9784642080224	吉川弘文館
歴史文化ライブラリー273 エミシ・エゾからアイヌへ	児島恭子	1700	9784642056731	吉川弘文館
〔民俗学〕				
季刊 東北学 第19号 特集 東北の原像	東北芸術工科大学東北文化研究センター編	1905	9784760135592	柏書房
季刊 東北学 第20号 特集 環境と景観	東北芸術工科大学東北文化研究センター編	1905	9784760135844	柏書房
カルパッチョー美学的探求—	ミッシェル・セール著・阿部宏慈訳	3300	9784588009198	法政大学出版局
日本の民俗 10 都市の生活	内田忠賢・村上忠喜・鶴飼正樹著	3000	9784642028851	吉川弘文館

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔日本文化史（論）〕				
明治・大正の邸宅—清水組作成彩色図の世界	内田青蔵監修・住宅総合研究財団編	9500	9784760135400	柏書房
江戸っ子菓子屋のおつまみ噺	細田安兵衛	2800	9784766416329	慶應義塾大学出版会
日本の深層文化	森浩一	820	9784480064769	筑摩書房
「害虫」の誕生	瀬戸口明久	720	9784480064943	筑摩書房
〔世界考古〕				
ピラミッド以前の古代エジプト文明	大城道則	3500	9784422230245	創元社
〔世界史（ヨーロッパ）〕				
ウェストファリア条約	明石欽司	9000	9784766416299	慶應義塾大学出版会
オックスフォードブリテン諸島の歴史 第9巻	コリン・マシュー編・君塚直隆監訳	4800	9784766416497	慶應義塾大学出版会
19世紀				
文庫クセジュ フランスにおける脱宗教性の歴史	ジャン・ボペロ	1050	9784560509364	白水社
ヒトラー権力の本質（新装版）	イアン・カーショー	2800	9784560080122	白水社
映画大臣 ゲッベルスとナチ時代の映画	フェーリクス・メラー	4500	9784560080023	白水社
知恵の七柱5	T.E. ロレンス	3200	9784582807875	平凡社
ヨーロッパに架ける橋 上	ティモシー・ガートン・アッシュ	5600	9784622074786	みすず書房
ヨーロッパに架ける橋 下	ティモシー・ガートン・アッシュ	5400	9784622074793	みすず書房
脱植民地化とイギリス帝国	北川勝彦編著	3800	9784623053315	ミネルヴァ書房
軍隊	阪口修平・丸畠宏太編著	4500	9784623049820	ミネルヴァ書房
〔世界史（アメリカ、南北を含む）〕				
アメリカ大統領—その権力と歴史—	ヴァンサン・ミシュロ著・藤本一美監修・遠藤ゆかり訳	1600	9784422212043	創元社
〔世界史（アジア）〕				
ムガル皇帝歴代誌	フランシス・ロビンソン著・小名康之監修	4200	9784422215204	創元社
シリーズ 20世紀中国史1 中華世界と近代	飯島渉編・久保亨編・村田雄二郎編	3800	9784130251518	東京大学出版会

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
両インド史—東インド編—(上)	ギヨーム・トマ・レーナル著・大津真作 訳	18000	9784588150562	法政大学出版局
歴史文化セレクション ベトナム戦争 記憶にであう	吉澤南	2200	9784642063500	吉川弘文館
〔世界文化史〕	大野のり子	1500	9784624112028	未来社
図説 20世紀テクノロジーと大衆文化	原克	4800	9784760133352	柏書房
食品偽造の歴史	ビー・ウィルソン	3000	9784560080146	白水社
ボジャキ 韓国の包む文化	中島恵	2200	9784560080153	白水社
イギリス文化55のキーワード	木下卓・窪田憲子・久守和子	2400	9784623054367	ミネルヴァ書房
世界の文字の図典 普及版	世界の文字研究会編	4800	9784642014519	吉川弘文館
歴史文化セレクション ありがとうジョット	石鍋真澄	3200	9784642063524	吉川弘文館

社 会

〔社会学一般〕				
新訂 新聞学	浜田純一・田島康彦・桂敬一	3000	9784535585683	日本評論社
裁判員の教科書	橋爪大三郎	1800	9784623055074	ミネルヴァ書房
よくわかる国際社会学	樽本英樹	2800	9784623054770	ミネルヴァ書房
よくわかる質的社会調査 技法編	谷富夫・芦田徹郎編著	2500	9784623052738	ミネルヴァ書房
〔社会学理論〕				
定着者と部外者 コミュニティの社会学	ノルベルト・エリアス著・ジョン・ L.スコットソン著・大平章訳	3500	9784588009181	法政大学出版局
差異 アイデンティティと文化の政治学	ミシェル・ヴィヴィオルカ著・宮島喬 訳・森千香子訳	3000	9784588603099	法政大学出版局
コミュニティ	R. M. マッキンヴァー	8000	9784623055142	ミネルヴァ書房
〔家族〕				
戦後教育のジェンダー秩序	小山静子	3000	9784326653416	勁草書房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
若者の介護意識	中西泰子	2600	9784326653423	勁草書房
「なっとく出産」応援事典 〔福祉〕	井上裕美・井本園江・小黒道子	2300	9784393710661	春秋社
公益の扉をひらく私の挑戦	東北公益文科大学公益小論文編集委員会 編	1000	9784766416374	慶應義塾大学出版会
大都市における高齢者の生活	奥山正司	6000	9784588675140	法政大学出版局
証言 日本の社会福祉	蟻塚昌克	3200	9784623053049	ミネルヴァ書房
権利擁護と成年後見	新井誠・池田恵利子・金川洋編著	2600	9784623054039	ミネルヴァ書房
介護過程	澤田信子・石井享子・鈴木知佐子編	2600	9784623052950	ミネルヴァ書房
「子育て支援」の新たな職能を学ぶ	山下由紀恵・三島みどり・名和田清子編 著	2500	9784623054169	ミネルヴァ書房
社会保障	広井良典・山崎泰彦編著	2600	9784623053889	ミネルヴァ書房
社会福祉士まるごとガイド（第3版）	日本社会福祉士会監修	1500	9784623054503	ミネルヴァ書房
福祉専門職のための権利擁護支援ハンドブック	PAS ネット編	2000	9784623054268	ミネルヴァ書房
ストレスモデルのケアマネジメント	白澤政和編著	2500	9784623054107	ミネルヴァ書房
人体構造と機能及び疾病	黒田研二・住居広士編著	2600	9784623053858	ミネルヴァ書房
石井十次と岡山孤児院	細井勇	8000	9784623051816	ミネルヴァ書房
児童養護と青年期の自立支援	喜多一憲ほか編集	3000	9784623052363	ミネルヴァ書房
障害者総合福祉サービス法の展望	茨木尚子編著	3000	9784623055197	ミネルヴァ書房
社会福祉実践の共通基盤	H. M. パートレット	8000	9784623055135	ミネルヴァ書房
全訂社会事業の基本問題 〔環境問題〕	孝橋正一	8500	9784623055111	ミネルヴァ書房
ゆっくりノートブック5 いよいよローカルの時代	ヘレナ・ノ・バグ＝ホッジ・辻信一著	1200	9784272320356	大月書店
ヘレナさんの「幸せの経済学」				
アスベスト禍はなぜ広がったのか	中皮腫・じん肺・アスベストセンター	2400	9784535584877	日本評論社

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔差別社会〕				
国際関係のなかの子ども	初瀬龍平ほか	2600	9784275008237	御茶の水書房
日本の不平等を考える 少子高齢社会の国際比較	白波瀬佐和子	2800	9784130511308	東京大学出版会
〔現代社会〕				
フリーター労組の生存ハンドブック	清水直子・園良太編著	1450	9784272330607	大月書店
現場からの中国論 社会主義に向かう資本主義	大西広	1800	9784272211005	大月書店
市民団体としての自治体	岡部一明	4200	9784275008336	御茶の水書房
虹色の空〈カンボジア虐殺〉を越えて	久郷ボンナレット	1700	9784393495292	春秋社
TOKUO 一坪遺産	坂口恭平	1600	9784393332962	春秋社
金融経済危機にどう立ち向かうか―「失われた十五年」の教訓	田中隆之	780	9784480064974	筑摩書房
日本の殺人	河合幹雄	780	9784480064882	筑摩書房
美人好きは罪悪か？	小谷野敦	780	9784480064929	筑摩書房
少年たちはなぜ人を殺すのか	宮台真司・香山リカ	860	9784480426246	筑摩書房
希望学2 希望の再生 釜石の歴史と産業が語るもの	東大社研編・玄田有史編・中村尚史編	3800	9784130341929	東京大学出版会
希望学3 希望をつなぐ 釜石からみた地域社会の未来	東大社研編・玄田有史編・中村尚史編	3800	9784130341936	東京大学出版会
希望学4 希望のはじまり 流動化する世界で	東大社研編・玄田有史編・宇野重規編	3800	9784130341943	東京大学出版会
オバマ大統領を支える高官たち	久保文明	1900	9784535585676	日本評論社
無実の死刑囚	高見澤昭治	2000	9784535517202	日本評論社
「使い捨てられる若者たち」は格差社会の象徴か	原清治・山内乾史著	1800	9784623054626	ミネルヴァ書房
女性の働き方	武石恵美子編著	3500	9784623052288	ミネルヴァ書房
近代日本メディア人物誌	土屋礼子編著	2800	9784623054183	ミネルヴァ書房
医療崩壊を超えて	田川大介編著	2000	9784623054909	ミネルヴァ書房
芸術・メディアのカルチュラル・スタディーズ	佐々木英昭・松居竜五編著	2800	9784623054336	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
----------	----	----	------	------

教育学

〔教育学・教育論〕

育てたいね、こんな学力 和光学園の一貫教育	大瀧三雄・行田稔彦・両角憲二	1600	9784272406630	大月書店
おむつなし育児—あなたにもできる赤ちゃんとのナチュラル・コミュニケーション	C. グロスロー著・和田知代訳	1800	9784760135585	柏書房

カリキュラム評価入門	田中統治・根津朋実編著	2600	9784326298914	勁草書房
教育思想のフーコー	田中智志	3000	9784326298921	勁草書房
概説 教育行政学	平原春好編	3400	9784130520782	東京大学出版会
地域で創る学びのシステム	住岡英毅ほか	2500	9784623055005	ミネルヴァ書房

〔図書館・博物館学〕

図書館のプロが伝える調査のツボ	高田高史編著	1800	9784760135851	柏書房
-----------------	--------	------	---------------	-----

〔教育問題〕

危機に立つ日本の英語教育	大津由紀雄編著	1800	9784766416565	慶應義塾大学出版会
--------------	---------	------	---------------	-----------

〔教育学〕

肢体不自由教育シリーズ4 専門性向上につなげる授業の評価・改善	日本肢体不自由教育研究会監修	2200	9784766414127	慶應義塾大学出版会
---------------------------------	----------------	------	---------------	-----------

〔障害児教育〕

遠城寺式 乳幼児分析的発達検査法 解説書 改訂新装版	遠城寺宗徳	800	9784766416213	慶應義塾大学出版会
----------------------------	-------	-----	---------------	-----------

現代の批評・評論

〔表象文化論〕

語り得ぬもの：村上春樹の女性表象	渡辺みえこ	1400	9784275008398	御茶の水書房
異郷の誘惑 旅するフランス作家たち	石井洋二郎	3200	9784130830522	東京大学出版会

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔カルチュラル・スタディーズ〕				
経済学の名著 30	松原隆一郎	860	9784480064912	筑摩書房
負けない	勢古浩爾	780	9784480688118	筑摩書房
緑の資本論	中沢新一	900	9784480092199	筑摩書房
人の気持ちがかかる脳	村井俊哉	700	9784480064998	筑摩書房
賢い皮膚	傳田光洋	720	9784480064936	筑摩書房
宇宙がよこぶ生命論	長沼毅	780	9784480688149	筑摩書房
ALMA 電波望遠鏡	石黒正人	950	9784480688156	筑摩書房
ライフワークの思想	外山滋比古	560	9784480426239	筑摩書房
故国喪失についての省察 2	E. W. サイド	5200	9784622072041	みすず書房
〔国家論・帝国論〕				
よいこの君主論	架神恭介・辰巳一世	780	9784480425997	筑摩書房
〔文学・芸術批評／理論〕				
ハイドン 106 の交響曲を聴く	井上太郎	2300	9784393931844	春秋社
夏至	正木ゆう子	2000	9784393434413	春秋社
サウンド・エデュケーション	R. マリー・シェーファー著・鳥越けい子訳	1800	9784393935439	春秋社
挑戦するピアニスト	金子一朗	2300	9784393937785	春秋社
ヘンデル 創造のダイナミズム	ドナルド・バロウズ著・藤江効子他訳	5500	9784393931851	春秋社
音楽の贈りもの CD-BOOK	東山慶子	2500	9784393970447	春秋社
十七音の履歴書	正木ゆう子	1800	9784393436332	春秋社
「知の再発見」双書ヴィジュアルプラス ルネ・ラリック	イヴォンヌ・ブリュナメル	1200	9784422214511	創元社
アニメ文化外交	櫻井孝昌	760	9784480064875	筑摩書房
ジョン・ケージ著作選	小沼純一編	1100	9784480092021	筑摩書房
反オブジェクト—建築を溶かし、砕く	隈研吾	1100	9784480092175	筑摩書房

書 名 ・ シ リ ー ズ 名	著 者	本 体	I S B N	出 版 社 名
セザンヌ物語	吉田秀和	1500	9784480425768	筑 摩 書 房
官能の哲学	松浦寿輝	1100	9784480092182	筑 摩 書 房
戦後思想家としての司馬遼太郎	成田龍一	2800	9784480823649	筑 摩 書 房
闊歩するゲーテ	柴田翔	2800	9784480838100	筑 摩 書 房
ムンダネウム	ル・コルビュジエ・ポール・オトレ	2500	9784480873606	筑 摩 書 房
デュティユーとの対話 - 音の神秘と記憶	クロード・グレイマン編・木下健一訳	4500	9784588410239	法 政 大 学 出 版 局
葛藤の時代について 〔政治哲学・社会哲学〕	アメリコ・カストロ著・本田誠二訳	4900	9784588009099	法 政 大 学 出 版 局
現代世界の危機とアダム・スミス	田中正司	3600	9784275008299	御 茶 の 水 書 房
アダム・スミスと現代 増補版	田中正司	2800	9784275008305	御 茶 の 水 書 房
ベーシック・インカムの哲学	P. ヴァン・パリース著・後藤玲子・齊藤拓訳	6000	9784326101832	勁 草 書 房
貧困化するホワイトカラー	森岡孝二	760	9784480064899	筑 摩 書 房
働き方革命—あなたが今日から日本を変える方法	駒崎弘樹	700	9784480064868	筑 摩 書 房
史観宰相論	松本清張	900	9784480426055	筑 摩 書 房
命の値段が高すぎる！	永田宏	740	9784480064981	筑 摩 書 房
政治的平等とは何か	ロバート・A. ダール 著・飯田文雄 (他) 訳	1800	9784588603082	法 政 大 学 出 版 局

人文会会員名簿

〒101-0021 千代田区外神田 2-18-6 春秋社内

2009 年 9 月末現在

社 名	担当者	〒	住 所	電 話	FAX
大 月 書 店	駒谷 光彦	113-0033	文京区本郷 2-11-9	3813-4651	3813-4656
御茶の水書房	平石 修	113-0033	文京区本郷 5-30-20	5684-0751	5684-0753
柏 書 房	富澤 凡子	113-0021	文京区本駒込 1-13-14	3947-8253	3947-8255
紀伊國屋書店	三橋 直也	153-8504	目黒区下目黒 3-7-10	6910-0519	6420-1354
慶應義塾大学出版会	大野 友寛	108-8346	港区三田 2-19-30	3451-6926	3451-3124
勁 草 書 房	吉武 創	112-0005	文京区水道 2-1-1	3814-6861	3814-6854
春 秋 社	鎌内 宣行	101-0021	千代田区外神田 2-18-6	3255-9611	3253-1384
誠 信 書 房	新保 卓夫	112-0012	文京区大塚 3-20-6	3946-5666	3945-8880
創 元 社	華園 斉	162-0825	新宿区神楽坂 4-3 煉瓦塔ビル	3269-1051	5229-7139
筑 摩 書 房	桃野 一郎	111-8755	台東区蔵前 2-5-3	5687-2680	5687-2685
東京大学出版会	橋元 博樹	113-8654	文京区本郷 7-3-1	3811-8814	3812-6958
日 本 評 論 社	朝倉 哲哉	170-8474	豊島区南大塚 3-12-4	3987-8621	3987-8590
白 水 社	小倉 研二	101-0052	千代田区神田小川町 3-24	3291-7811	3291-8448
平 凡 社	根井 浩一	112-0001	文京区白山 2-29-4 (泉白山ビル)	3818-0874	3818-0674
法政大学出版局	成田 共助	102-0073	千代田区九段北 3-2-7	5214-5540	5214-5542
みすず書房	田崎 洋幸	113-0033	文京区本郷 5-32-21	3814-0131	3818-6435
ミネルヴァ書房	三上 直樹	101-0054	千代田区神田錦町 3-6 石沢ビル 3F	3296-1615	3296-1620
未 來 社	和久津寛英	112-0002	文京区小石川 3-7-2	3814-5521	3814-8600
吉 川 弘 文 館	馬場 正彦	113-0033	文京区本郷 7-2-8	3813-9151	3812-3544

(休会：晶文社・草思社)

会 長	菊池明郎 (筑摩書房)
代表幹事	鎌内宣行
会計幹事	平石 修
書記幹事	新保卓夫

(◎委員長 ○副委員長)

販売・企画委員会	◎橋元博樹・○華園 斉・駒谷光彦・三橋直也・根井浩一
調査・研修委員会	◎田崎洋幸・○桃野一郎・富澤凡子・朝倉哲哉・小倉研二
広報委員会	◎吉武 創・○三上直樹・大野友寛・成田共助・和久津寛英・馬場正彦

人文会 H.P <http://www.jinbunkai.com>

言葉と戦車を 見すえて

— 加藤周一 が考えつづけてきたこと

加藤周一 著 小森陽一／成田龍一 編

知の巨人・加藤周一が、日本と世界の政治・社会情勢について、何を考え何を発言しつづけてきたのかを俯瞰できる二十七の論稿群を集成。
●ちくま学芸文庫 1470円

筑摩書房

サービスセンター ☎048-651-0053
*価格は定価 (税込)

<http://www.chikumashobo.co.jp/>

人のこころを動かす説得の科学 影響力の武器 実践編

「イエス！」を引き出す50の秘訣

R.B.チャルディーニ他著／安藤清志監訳
話題の『影響力の武器 [第二版]』に続く待望の第二弾。人や組織から同意と承諾を得る方法を具体的に解説。 2100円

傾聴カウンセリング 学校臨床編

古宮 昇・福岡明子著 スクールカウンセラーが直面する様々な対応場面を、Q&Aと練習問題で解説する。 1890円

新・臨床心理士になるために [平成21年版]

(財)日本臨床心理士資格認定協会監修
臨床心理士の資格取得を目指す人のためのガイド。平成20・19年度の筆記試験問題の公開とその正答と解説。 1470円

誠信書房

東京都文京区大塚3-20-6
TEL.03-3946-5666 (税込)

小林康夫 知のオデッセイ

— 教養のためのダイアローグ —

本質的他者との対話への準備がないものは大
学を去れ！時に創造的に介入し、または偶
然に導かれて、「出会う」力とは。自らの枠
を超えて呼びかけに応答し、「人間について
の新しい思考」を模索する旅を綴る。
「知」を愛するアクティヴィストとしての本
領を存分に発揮したエッセー。 2,940円

東京大学出版会

〒113-8654 文京区本郷7-3-1
TEL.03-3811-8814 <http://www.utp.or.jp/>
[価格税込]

世界の城と要塞 Hスティルラン著 森山隆訳

先史時代から20世紀までの代表的城
塞建築20を解説。姫路城も収録。

世界の大聖堂・ 寺院・モスク Hスティルラン著 森山隆訳

信仰の象徴としていまも輝きを放つ建
築物29を解説。法隆寺も収録。

空から見る驚異の歴史シリーズ

A4判変形 各巻4,515円 世界の名建築を
空撮、B3サイズ超の折図を綴じ込んだ斬新
な製本でその全貌を明らかにする。

世界の大宮殿 Hスティルラン著 森山隆訳

贅を尽くした壮大かつ華麗な宮殿29の
全容を解説。日本の皇居も収録。

世界の20世紀建築

B.J.ルモアンヌ著 森山隆訳

建築家の独創性と建築技術の粋が生
み出した現代の名建築29を解説。

創元社

大阪市中央区淡路町4-3-6 (税込価)
Tel.06-6231-9010 Fax.06-6233-3111
<http://www.sogensha.co.jp/>

 東洋文庫

完全版 知恵の七柱

壮大な叙事詩のフィナーレ、全5巻ついに完結！

T・E・ロレンス／J・ウィルソン 編／田隅恒生 訳

第一次世界大戦中、落日のオスマン帝国に抗してアラブ反乱を率いた「砂漠の英雄」ロレンスの回想録「知恵の七柱」。幻の原典稿の校訂版を世界で初めて完訳。アンリアのロレンスへの新たな全貌が明らかになる。

◎第1～4巻 3150円／第5巻 3360円
◎全書判／特注クロス装／各巻入

平凡社

【価格税込】 〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4
TEL 03-3818-0874 <http://www.heibonsha.co.jp/>

60年目の真実。

検察、裁判所、弁護士、
報道の罪を告発する！

無実の死刑囚

三鷹事件 竹内景助

高見澤昭治／著 四六判 定価2100円 税込

下山・三鷹・松川と続く謀略の1949年夏。なぜか語られることのない三鷹事件。ただひとりの非黨員竹内は単独犯行を自白した。真実はどこに？



日本評論社

<http://www.nippyo.co.jp>

☎03-3987-8621

FAX03-3987-8590

豊島区南大塚3-12-4

法政大学出版局

<http://www.h-u.com/>

技術と時間 1

エピメテウスの過失

B. スティグレル 著／石田英敬 監修

西 兼志 訳 ポスト構造主義の次世代を担う哲学者の著書シリーズ。従来、哲学から排除されてきた技術の問題をとらえ直し、哲学の限界と行方を問う。4410円

ディルタイ全集

第7巻 精神科学成立史研究

宮下啓三・白崎嘉昭 編集/校閲

ルネサンスと宗教改革以後、ヨーロッパの精神諸科学はいかに形成されてきたか。人間の生の経験を通じて、近代的世界観の成立を跡づける力作論考群。25,200円

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7
☎ 03 (5214) 5540 / 表示価格は税込です

ピューリッツァー賞受賞作

倒壊する巨塔

アルカイダと「9・11」への道

【上・下】 各●2520円

ローレンス・ライト著 平賀秀明訳

ビンラディン、ザワヒリなど「アルカイダ」の軌跡を丹念に追いかけて、等身大の姿を描く。徐々に惨劇に向かって収斂していく様に戦慄を覚える、傑作ノンフィクション。手嶋龍一氏推薦！

白水社

東京都千代田区神田小川町 3-24
tel.03-3291-7811 / fax.03-3291-8448
<http://www.hakusuisha.co.jp/> * 価格は税込

【宮本常一著作集別集】
私の日本地図 第7巻

佐渡 [第4回配本]

宮本常一 著／香月洋一郎 編 ◇2310円

俳優の仕事 第三部

俳優の役に対する仕事

スタニスラフスキー 著

堀江・岩田・安達 訳 ◇5040円

出版のための
テキスト実践技法／総集篇

西谷能英 著 ◇1890円

記憶にであう

中国黄土高原——なつめ 紅東がみのる村から

大野のり子 著・写真 ◇1575円

未来社 表示価格は税込
〒112-0002 東京都文京区小石川3-7-2
tel.03-3814-5521 www.miraisha.co.jp/

ヒーリー 精神科治療薬ガイド 第5版

精神科の薬を使う人は必携！服薬リスク・副作用を徹底解説
したユーザー本位のガイド。田島治・江口重幸監訳 四三三円

臨床瑣談 続

中井久夫 医師と生活者の仲介者という姿勢から生れた7章。
認知症 煙草と酒 中医学、インフルエンザについて。一五九円

アドルノ文学ノート 1

「形式としてのエッセー」をはじめ20世紀批評に確実な刻印を
遺した文章群の全訳を刊行。全2巻。三光長治他訳 六〇〇円

ヨーロッパに架ける橋

東西冷戦と「全2巻」
ドイツ外交 ドイツ統一を悲願として
展開された綱渡り外交の全容。杉浦茂樹訳 上六〇〇円 下五七〇円

みすず書房 (税込)

東京本郷 5-32-21 http://www.msuz.co.jp

戦争の日本史 全23巻 完結

四六判・平均三〇四頁／各巻2625円 『内容案内』送呈

戦争はなぜ起きるのか！
古代の動乱からアジア・太平洋戦争まで、
日本のさまざまな戦争をとり上げ、
原因・経過・被害などを多角的に探る。
戦争の実態を追求しながら
平和の尊さを訴え、
人間にとって戦争とは何かを考える。
『企画編集委員』 小和田哲男・関幸彦・森公章・吉田裕
『企画編集委員』 小和田哲男・関幸彦・森公章・吉田裕



吉川弘文館

価格
税込

東京都文京区本郷7-2／電話 03-3813-9151

おかげさまで創刊6周年

ミネルヴァ日本評伝選 *毎月10日刊

ケンペル

礼節の国に来たりて

B.M.ボタルトIIペイリー著 中直一訳 死後
出版された『日本誌』により、後世に影響を与え
たドイツ人医師・博物学者の生涯。3360円

大正天皇

一躍五大洲を雄飛す

F.R.ディキンソン著 20世紀初頭という「近
代の起点」に生きた歴史的意味、日本近代化へ
及ぼした影響に焦点をあてて迫る。2625円

支倉常長

明治天皇

既刊 田中英道著 2640円

伊藤之雄著 2940円

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 価格税込み／宅配可

図説
20世紀テク
ノロジと
大衆文化
原 克
B5判304頁・5040円

20世紀消費社会の新発明は暮らしの質を向上させただけでなく、人びとが思い描く世界観に大きなインパクトを与えた。新技術の登場に大衆が抱いた〈夢〉と〈欲望〉でたどる、郷愁の20世紀史。圧巻の収録写真1700点。



柏書房

東京都文京区本駒込1-13-14
Tel.03-3947-8251 (価格税込)

マルクス・フォー・ビギナー

A5判・各1260円

★5★

■続刊■

⑤フォイエールバツ論

① 共産党宣言

マルクス＝エンゲルス著 浜林正夫解説 村田陽一訳

② 空想から科学へ

エンゲルス著 浜林正夫解説 寺沢恒信・村田陽一訳

③ 賃労働と資本

マルクス著 金子ハルオ解説 村田陽一訳

④ 賃金・価格・利潤

マルクス著 金子ハルオ解説 土屋保男訳



マルクス、エンゲルスの著作に、当時の時代背景や内容などのやさしい解説を新たに書き下ろした新シリーズ。古典本文に挿入した豊富な図版や用語説明、注解も理解を助ける。

●資本主義の限界を解く、入門的マルクス再読

カール・マルクスの弁明

社会主義の新しい可能性のために

聴濤 弘著

46判・1680円

大月書店

東京都文京区本郷2-11-9

電話03(3813)4651 (代表)

<http://www.otsukishoten.co.jp/> (税込)

人文書のすすめIV

人文書の見取り図と基本図解

創立四十周年記念出版
「人文書のすすめIV」

ISBN978-4-915735-05-9 (非売品)

発行 人文会 (春秋社内)

<http://www.jinbunkai.com>

高良留美子著 A5判・二〇頁・二二六〇円(税込)
花ひらく大地の女神 月の大地母神イザナミと神話・民話・遺跡・祭りに隠された月のシンボル表現を読み解き、近代が否認した循環的な自然観と再生思想を、二十世紀に再建する。
渡辺みえこ著 A5判・一四〇頁・一四七〇円(税込)
語り得ぬもの：村上春樹の女性表象 レイ・アン
三島由紀夫論で斬新なセクシュアリティ論を展開した詩人・渡辺みえこが、村上文学の地下の「やみくろ」を分析する。
初瀬龍平・松田哲戸・田真紀子編著 A5判・一七頁・一七三〇円(税込)
国際関係のなかの子ども
貧困／戦争／生きる権利／国際レシームを手掛かりに、「子ども」の安全保障―労働搾取や戦争・内戦の被害からいかに子どもを救うかを考える。

御茶の水書房

東京都文京区本郷5-30-20 TEL 03-5684-0751